

令和7年度 第2回久留米市立図書館協議会

日 時 令和7年11月25日（火） 午前10時30分

会 場 久留米市立中央図書館3階会議室

次 第

1 開会

2 議事

（1） 第5次久留米市子どもの読書活動推進計画素案について

3 その他

4 閉会

【資料】

- ・次第
- ・委員名簿
- ・事務局名簿
- ・久留米市図書館協議会条例

『第4次久留米市子どもの読書活動推進計画』総括に対するご意見と対応について

	意見	対応
1	「こども基本法」では子どもの定義が柔軟に変わった中、高校生までを対象とした計画ではなく、若者までを対象にする必要があるのではないか。	「子ども読書活動の推進に関する法律」（H13年法律154号）では、「子ども」の年齢は「おおむね十八歳以下の者をいう。」とされています。その後制定された「こども基本法」（R5.4.1施行）には「心身の発達の過程にある者」と子どもの定義が柔軟に変わっています。 また、本市の「こども計画（R7.4.1施行）」では、原則として、「こども」とは0歳から18歳未満、若者とは18歳から40歳未満とするが、必要な支援が一定の年齢で途切れることがないよう、法令等の定めがある場合を除いて、柔軟に対応できることとするとされています。 こうしたことを踏まえ、本市における子どもの読書活動推進計画では、これまでどおり子どもの定義を「0歳からおおむね18歳以下の子ども」といたします。
2	高校生の年齢で高校に在学していない市民も対象にするべきではないか。	次期計画の策定にあたっては、一般的な「中高生」の表記は「中高生等」といたします。
3	在学していても、高校生の1割が通信制定時制高校に通っている現状から、学校図書館のない15から18歳の子どもを対象に考えるべきではないか。例えば、通信制高校のサテライト校と連携した貸出など。	子どもの読書活動の推進にあたっては、通信制・定時制高校の生徒も対象者に含みます。 これまでも、通信制・定時制高校に対し、読書活動支援として団体貸出や再活用本の提供を行っています。次期計画期間において、学習の場としての提供をはじめ図書館の様々なサービスを活用できるように、関係部局・学校と連携し進めてまいります。
4	不登校の児童生徒が小中学校で1000人を超えている現状を考えると、学校図書館が利用できない小中学生に対する図書館サービス（学習場所・居場所としての提供、レファレンスサービスの案内）も検討すべきではないか。	不登校により学校図書館が利用できない小中学生への図書館サービスは大変重要であるため、次期計画期間において、居場所としての提供をはじめ図書館の様々なサービスを活用できるように関係部局と連携し進めてまいります。
5	不登校や引きこもりの子ども、若者、大人に対して、外出が難しい時期に本の宅配サービスが利用できたり、電子図書館が案内されると、いいと思う。	様々な理由で来館できない方へのサービスの1つとして本の有料宅配サービスを実施しています。 電子図書館の案内については、青少年育成課と連携し、らるごに通う子どもたちに電子図書館サービスのチラシを配布し情報提供を行いました。今後も不登校や引きこもりの方に対して電子図書館サービスの情報発信を進めてまいります。

	意見	対応
6	<p>こども基本法の趣旨をふまえると、次期計画策定にはこどもの参画が必要と思う。子どもへのインタビューが行われているが、図書館に関心を持つ子どもに偏っていること、人数が少ないと、質問が限定的であること、意見の反映が既存のものに当てはめる形でしか対応されてないことなど、子どもの意見の取り扱いとして不十分だと思う。</p> <p>今後は、図書館運営協議会に子どもを委員として入れる、それが無理なら臨時委員として入れる、それも無理ならオブザーバー参加してもらうなど取組みが必要と思う。</p>	<p>次期計画策定にあたっては、子どもの意見を計画に反映したいと考え、アンケート調査と子どもへのインタビューを実施し、「その他自由意見」では多くの意見を聴取ることができましたので、それらの意見を反映した事業の実施に取組んでいきたいと考えています。</p> <p>一方で、ご指摘のとおり、意見の反映が既存のものに当てはめる形でしか対応されてないことなど、子どもの意見の取り扱いとして十分ではありませんでした。</p> <p>次期計画期間中に計画の推進に関して、子どもが参画し、意見を聴取できる場の検討を進めてまいります。</p>
7	<p>2ページ「図書館」の枠囲み、5ページ「読書が困難な子ども」、18ページ下から3行目「読むことが苦手な人」</p> <p>子どもの側に問題があると言う捉え方になっているが、読書サービスの提供の仕方に問題があると言う捉え方に変えなければいけないと思う。日本語の印刷、活字での本が読めない人は「読書が困難な人」ではなく、「その人に合った図書館サービスが提供されてない人」と言う提供側の工夫の問題だと思う。そのことがわかる表現に次期計画では変えた方が良いと思う。</p>	<p>次期計画の策定にあたっては、「読書が困難な人」ではなく「その人に合った図書館サービスが提供されてない人」の表現方法を含め、誤解を招かないように修正いたしました。</p>
8	<p>各項目の最後に書かれた【今後の課題】が、具体的ではなく、抽象的で一般的な表現になっている。施策と取り組みの成果の後に評価や分析がないため、一般的な表現になっているのではないか。これでは十分な総括にならないので、次の計画への反映ができるのだろうかと疑問である。</p> <p>例えば2ページ、ブックスタートに来ない人はなぜ来ないのかが検討されていないので、「参加率を高める工夫が必要です」と書いている。ブックスタートに来ない人にはどんな背景があるのか？子ども未来部と協力して分析をすれば、何が必要なのか？どんな工夫が可能なのか出てくるのではないか。</p>	<p>【今後の課題】が、具体的ではなく、抽象的で一般的な表現になっているとのご指摘を受け、できる限り改善し次期計画に反映したいと考えております。</p> <p>ブックスタートに参加しない・できない人は「時間的・精神的にゆとりのない状況」「赤ちゃん連れ外出の負担」「ブックスタートに魅力を感じない」等、様々な背景が考えられます。</p> <p>次期計画期間中に未参加の人に対する絵本を手渡すことができるのか、子ども未来部と連携し、対応策を検討してまいります。</p>
9	<p>12ページ 保護者の75%がブックスタートに参加したと回答</p> <p>保護者の回答率は45%なので、フックスタートに参加した人が高い割合でこのアンケートに回答し、ブックスタートに参加していない人の回答率が低いことがわかる。そのバイアスを補正して、保護者のアンケート結果は読むべきだと思う。</p>	<p>保護者のアンケート結果は、誤解を招かないように修正いたしました。</p>

	意見	対応
10	<p>2・3ページ 地域での読書活動は、子育てサロンやチャレンジ子ども土曜塾など市の補助金が入っている校区コミュニティセンターでの活動に読み聞かせを組み込んでもらってる状況である。これは一定の成果を上げていると思うが、さらに住民が主体的に取り組む「子どものための読書活動」のサークルを育成することにも取り組む必要があると思う。例えば、小学校で読み聞かせを行うサークルを母体に地域活動に発展できる所もあるのでは。また、こども食堂や子どもの居場所づくり事業、子どもの見守り強化事業などと連携することで、家読の難しい環境の子どもにも読書の機会を提供することができるのではと思う。</p>	<p>地域での読書活動は、住民が主体的に取組む「子どものための読書活動」のサークルを育成することで、子どもへの読書機会の提供が一段と進むことが考えられます。小学校で読み聞かせを行うサークルが母体となり地域活動に発展させていけるか、また、家庭内での読書が難しい子どもへの読書機会の提供につきましても、関係部局や団体等に相談し、情報収集を行い研究してまいります。</p>
11	<p>6ページ ボランティアの数が減ってきてる事について分析が必要だと思う。他自治体の図書館では読み聞かせやお話に限らない、多様なボランティア活動があるそうだ。多様な市民が図書館運営や読書活動の推進に寄与できるよう、間口を広げることも一案だと思う。</p>	<p>図書館で活動されるボランティアは減少傾向にあります。要因としては、高齢化やなり手がないといったことが考えられます。図書館で活動するボランティアはなくてはならない存在です。次期計画期間においても、養成やスキルアップのための研修の実施、活動の場の提供などに取組むとともに、多様な市民が図書館運営や読書活動の推進に参加できるよう、他自治体の図書館のボランティア活動状況を参考に研究してまいります。</p>
12	<p>6ページ 「子どもポータルサイトトップページに「くるめ広域電子図書館」のアイコンを表示するなど、電子図書館サービスの利用促進に取り組みました。」 良い取り組みだと思うが、小中学生のタブレット持ち帰りの頻度は、少ないと聞くので、実際にはまだ読書につながっていないのではないか。</p>	<p>小中学生のタブレット持ち帰りの頻度は、各学校やクラスで様々だと思われますが、読書活動の推進については、これまで全児童への「子ども向け電子図書館利用案内チラシ」の配布や「子どもポータルサイト」導入前には、一人一台端末のお気に入りに電子図書館サービスを入れてもらうなど取組を進めてきました。 次期計画期間においても、教育委員会や学校と連携し、電子図書館の利用促進に努めてまいります。</p>
13	<p>8ページ ついて書いてある。これはICTの普及に伴って想定されていたことであり、それを上回る読書の働きかけや環境整備が乏しかったことを分析、総括すべきではと思う。</p>	<p>不読率上昇の背景として、ICTの普及を上回るような読書に興味・関心が持てる取組みが子どもたちに届いていなかったことを記載いたしました。</p>

14	<p>10ページ 「身近な人が本を読むための働きかけを行うことが大切と考えます」</p> <p>子どもに本を読んであげことができない理由を意識の欠如と捉えるのか、時間的、精神的にゆとりのない生活状況の結果、と捉えるのかで、次の政策は変わってくると思う。子どもと一緒に本を読めない親の多忙や疲労、保護者自身も本を読む時間がない状況に思いをはせてほしいなあと思う。保護者のワークライフバランスが一番の解決策でしょうが、家読のできない子どもに地域や学校がどれだけカバーできるかという問題と捉えることも必要ではと思う。</p>	<p>「子どもと一緒に本を読めない親の多忙や疲労」「保護者自身も本を読む時間がない状況」という大きな課題に対して、地域・学校・図書館がどのようにサポートしていくのか、関係部局と連携し、検討してまいります。</p>
----	---	--

意見	対応	
15	<p>学校図書館の資料整備について、予算について触れていないが、周辺地域の小規模校と、都心部の大規模校では図書充足率が異なっている。</p> <p>児童・生徒数の多い大規模校では充足率が低く、古くて廃棄すべき図書も充足率が下がるので廃棄できない（新しい本を買う予算配当が不十分であるから）。</p> <p>図書予算の拡充や学校規模による配当の見直しなどを検討しなければ、児童生徒にとって魅力的な図書構成とならず、貸出冊数の増加や未読率の低下にもつながらないと考えるが、教育委員会の見解はいかがか。</p>	<p>学校図書館図書整備事業として、令和7年度予算ベースで、小学校で12,829千円、中学校で11,424千円の合計24,253千円を確保しており、ここ数年は同額程度で推移しています。</p> <p>また、学校への予算配当については、委員ご指摘の『児童・生徒数の多い大規模校では充足率が低く、古くて廃棄すべき図書も充足率が下がるので廃棄できない（新しい本を買う予算配当が不十分であるから）。』に配慮できるように、学校規模に関わらず一律配当する『均等割』と学校規模に応じた『学級数割』を全学校に配当するとともに、学校図書館図書標準未達成の学校には、不足冊数に応じて、追加配当も行っています。</p> <p>さらに、令和7年度予算ベースで169,359千円の予算を確保し、学校司書を全校に配置するなど、児童生徒の読書活動が推進されるよう、2億円近くの予算を確保しているところです。</p> <p>まずは、例年ベースの予算確保に努めるとともに、学校での読書活動の推進を図るために、読み聞かせやおすすめ本の紹介、児童生徒のニーズにあった図書の選書など、学校司書を中心とした学校内での取組が重要となることから、学校司書を対象とした研修や他校での好事例の紹介など、引き続き支援していきたいと考えています。</p>

16	<p>各所で様々な取り組みがなされている事が解りました。これだけ多岐にわたる内容を取りまとめて資料にするのは大変だった事と思います。</p> <p>【不読率に関して】は、今の取り組みの成果を数字として判断するには、単年ではなく、少し長目のスパンで見ないと判らないのではないかと思いました。</p> <p>今の様々な取り組みが功を奏し、『本が好きな小さい子ども達』が増え、やがてその子達が『本が好きな小学生』になり、『本を読む中学生～高校生～大人』へと成長していくと思います。</p> <p>なので、『良い』と思われる取り組みを自信を持って継続して下さい。数年後にはきっと不読率は改善していくと思います。</p>	<p>すべての子どもたちが成長の過程において心に残る本と出会い、生涯を通じて読書に親しむことができるよう、次期計画においても様々な施策に取り組んでまいります。</p>
----	---	---

第5次久留米市 子どもの読書活動推進計画（素案）



図書館シンボルマーク
「ブックン」

目 次

「子どもの読書活動推進計画」第5次計画策定にあたって	1
第1章 第4次計画の課題と総括	3
1 各領域における取組の成果と課題	3
(1) 家庭・地域	3
(2) 保育所・幼稚園・認定こども園	4
(3) 学校	5
(4) 図書館	6
(5) ネットワーク	8
2 子どもと保護者への意見聴取から見える現状と課題	9
(1) 子どもの読書活動に関するアンケート調査	10
(2) 子どもへのインタビュー	14
3 国の子ども読書活動推進の課題	16
4 久留米市における「第4次計画の目標とする数値」の達成について	17
5 総括	18
第2章 計画策定の基本的な考え方	19
1 計画の目標	19
2 計画の基本方針	19
3 計画の対象	19
4 取組や現状を把握する指標	20
5 計画の期間	20
第3章 計画推進の方策	21
1 発達段階に応じた方策の方向性	21
2 各領域での方策の展開	22
3 効果的な計画推進のために	26
第4章 施策表	27
(本文用語注記)	30
資料編	33

「子どもの読書活動推進計画」第5次計画策定にあたって

■国の動向

平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」(資料1)が公布・施行されました。その中で、子どもの読書活動の推進に関する基本的な理念と行動内容を定め「すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない」として、国と地方自治体の責務を明らかにしています。

■久留米市の計画

本市では、国や福岡県の動向を踏まえ、「久留米市子どもの読書活動推進計画」(第1次計画：平成19～23年度、第2次計画：平成24～28年度、第3計画：平成29～令和元年度、第4次計画：令和2～7年度)を策定し、子どもの読書活動を推進してきました。

具体的には、子どもの発達段階に応じて、ブックスタート(注1)や家読(注2)の推進、保護者への啓発、学校図書館整備、図書館児童図書蔵書の充実、子どもの読書活動の支援、図書の団体貸出(注3)の推進など、様々な子どもの読書環境の整備を行いました。

第5次計画の策定にあたっては、第4次計画の検証に加え、令和5年3月に策定された「第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」の方針や市立の小中学生、高校生、保護者を対象とした読書に関するアンケート調査結果、子どもへのインタビューによる意見聴取を踏まえることとしました。

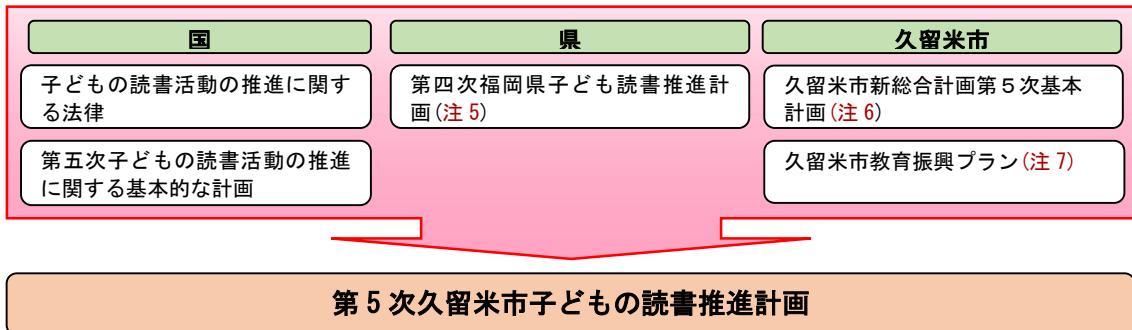
「計画の目標値」は、第4次計画において「不読率」を設定していましたが、2期連続して目標値を達成することができなかったことを真摯に受け止め、第5期計画では到達目標は定めず、施策の進捗状況を客観的に把握し評価する指標として見直しました。

また、子どもの発達段階(乳幼児、小学生、中学生・高校生)ごとに読書の意義や方策の方向性をとらえ、各領域(家庭・地域、保育所・幼稚園・認定こども園、学校、図書館、ネットワーク)での具体的な48施策を定めたところです。

これまでの取組を継承し発展させるため第5次計画の推進に取組んでまいります。

■計画の位置づけ

本計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」及び第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」並びに第四次「福岡県子ども読書推進計画」に基づき策定した「第5次久留米市子どもの読書活動推進計画」です。なお、久留米市新総合計画第5次基本計画を上位計画とし、関連計画との調整・連携を図りながら推進します。



(参考)

国・福岡県・久留米市の推移

(1) 国の推移

- 平成13年12月 「子どもの読書活動の推進に関する法律」制定
- 平成14年 8月 「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」策定
- 平成20年 3月 第二次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」策定
- 平成25年 5月 第三次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」策定
- 平成26年 6月 学校図書館法の改正 (注8)
- 平成29～31年 学習指導要領の改訂 (注9)
- 平成30年 4月 第四次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」策定
- 令和 元年 6月 「読書バリアフリー法」 (注10) 制定
- 令和 4年 6月 「こども基本法」制定 (注11)
- 令和 5年 3月 第五次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」策定

(2) 福岡県の推移

- 平成16年 2月 「福岡県子ども読書推進計画」策定
- 平成22年 3月 第二次「福岡県子ども読書推進計画」改訂
- 平成28年 8月 第三次「福岡県子ども読書推進計画」改訂
- 令和 5年12月 第四次「福岡県子ども読書推進計画」改訂

(3) 久留米市の推移

- 平成19年 3月 「久留米市子どもの読書活動推進計画」策定
(計画期間：平成19年度～平成23年度)
- 平成24年 3月 「第2次久留米市子どもの読書活動推進計画」策定
(計画期間：平成24年度～平成28年度)
- 平成29年 3月 「第3次久留米市子どもの読書活動推進計画」策定
(計画期間：平成29年度～令和元年度)
- 令和 2年 3月 「第4次久留米市子どもの読書活動推進計画」策定
(計画期間：令和2年度～令和7年度)

第1章 第4次計画の課題と総括

1 各領域における取組の成果と課題

各領域の主な取組の成果と課題は、次のとおりです。

(1) 家庭・地域

施策	主な取組の成果											
ブックスタート事業の推進	<ul style="list-style-type: none">市内に居住の赤ちゃんと保護者を対象に、言葉とともに絵本を手渡し、絵本を介して保護者が赤ちゃんに語りかけることの大切さを伝えるブックスタート事業を、図書館・子育て支援センターの職員、ボランティアで連携して取組みました。新たな取組として1歳を過ぎた未参加者への参加証の再送付や参加者が配布絵本を選択できるよう変更しました。こうした取組の積み重ねで成果指標「ブックスタート参加率」は改善に転じました。											
	■ブックスタート参加率 (%)											
	年 度	R1	R2	R3	R4	R5	R6					
	参加率	54.7	52.7	51.9	51.4	49.3	58.5					
	達成状況	基準値										
家読の推進	<ul style="list-style-type: none">読書活動を家族で楽しむことができるよう、中央図書館ではブックリストを作成し常設展示を行うとともに、各学校と連携し全児童に配布するなど、家読の推進に取組みました。											
各地域での読書活動の実施	<ul style="list-style-type: none">各校区の子育てサロン(注 12)では、主任児童委員・ボランティア・支援センター職員による読み聞かせを実施し、乳幼児と保護者が身近に絵本と触れ合える機会を提供しました。校区コミュニティセンターで実施する「チャレンジ子ども土曜塾」では、子どもへの読み聞かせを行いました。学童保育所や隣保館、教育集会所等では、図書館の団体貸出を活用し子どもの読書活動に取組みました。各子育て支援センターでは、絵本スペースの設置を進め、読み聞かせ、絵本講座の開催など、絵本との出会いの場を提供しました。くるるんや児童センターでは、絵本スペースの設置やイベントで乳幼児と保護者を対象に読み聞かせを実施しました。市民センター多目的棟図書室では、おはなし会や読書活動推進事業など、自主事業に取組みました。男女平等推進センター図書情報ステーションでは、子どもや保護者の利用につながるよう環境整備に取組み、絵本を通してジェンダーへの理解を深める事業を実施しました。											
	■地域子育てサロンでの読み聞かせ校区数											
	年 度	R1	R2	R3	R4	R5	R6					
	校区数	24	12	12	19	25	25					
	達成状況	基準値										
※支援センター職員による実施												

■団体貸出を活用し読書活動を推進した学童保育所数						
年 度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
学童保育所数	44	45	44	44	44	44
達成状況	基準値					○

【今後の課題】

○ブックスタート事業の参加促進

- ・乳幼児期における家庭での読み聞かせは、親子の絆を深めるとともに、本のある生活が習慣化されます。親子で本に親しむきっかけとなるブックスタートの参加率は令和6年度に改善に転じましたが、約6割の参加にとどまっています。ブックスタートに参加しない・できない人がどのようにすればブックスタートの恩恵を受けることができるのか、関係課とともに対応策を模索していく必要があります。

○地域で子どもの読書活動を支える環境づくり

- ・成果指標「地域子育てサロンでの読み聞かせ校舎数」は、コロナ禍で一定期間制限されましたが近年は増加に転じました。引き続き、地域で子どもの読書活動を支える取組の拡充が期待されています。
- ・成果指標「団体貸出を活用し読書活動を推進した学童保育所数」は、すべての学童保育所で取組が実施されています。
- ・子どもの読書環境の充実を図るため、子どもに本の楽しさや魅力を伝え、大人も子どもも一緒に読書を楽しめる機会を提供するなど、地域を中心に進めてきた取組を継続して実施していく必要があります。

(2) 保育所・幼稚園・認定こども園

施策	主な取組の成果
読み聞かせの実施	・各施設では、子どもの年齢に応じて読み聞かせや絵本の貸出を行うなど、子どもと本との出会いの場を創出し、子どもの創造力や豊かな心を育みました。
絵本スペースの整備	・多くの施設では、絵本コーナーを設置するなど読書環境の充実に取組みました。また、ハード面だけでなく、保護者と子どもが一緒に本に触れるような働きかけを行うなど、各施設が工夫して様々な取組を行っており、子どもたちが主体的に絵本に親しむ姿が見られます。
保護者への働きかけ	・園庭開放を通して、絵本の紹介・貸出・読み聞かせ等を実施し、保護者への啓発を行いました。

【今後の課題】

○乳幼児期における読書活動の推進

- ・乳幼児期の子どもは、大人からの働きかけがなければ本に出会うことができません。保護者をはじめとする周りの大人が子どもの読書の意義を理解し、読み聞かせの機会を確保することが大切です。そのため、子どもと保護者双方に向けて絵本の楽しさを伝える事業を推進していくことが必要です。

○読書環境の充実

- ・乳幼児期は、周囲の大人から言葉をかけてもらったり乳幼児なりのことばを聴いてもらったりしながら言葉を獲得するとともに、絵本や物語を読んでもらうことなどを通じて絵本や物語に興味を示すようになる時期であり、保護者と子どもが一緒に絵本の親しむことができる環境の充実が求められます。

(3) 学校

施策	主な取組の成果									
読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none">・「子ども読書の日」「秋の読書週間」の取組みについて、各校の事例紹介を行い、読書活動の活性化を図りました。・全校一斉読書(注 13)については、実施時期や時間、回数は各校で様々ですが、令和 6 年度は全小学校で実施しました。・単元に沿った「図書館資料活用表」を作成し、市立図書館の資料の利用を含め全小中学校で図書館資料の活用による学習の充実に努めました。・「学校図書館サポート通信」を毎月発行し、図書館教育の充実を図りました。									
■学校図書館貸出冊数（小・中学校合計）										
年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6				
貸出数	1,219,776	1,256,601	1,292,341	1,281,430	1,252,941	1,282,506				
1人当たり	約 50 冊	約 51 冊	約 52 冊	約 52 冊	約 51 冊	約 53 冊				
達成状況	基準値					○				
学校内的人的体制の整備	<ul style="list-style-type: none">・令和 6 年度は小学校 38 校、中学校 11 校に司書又は司書補を配置し、計画的な研修会・講座を実施することで、専門性を高めました。・読書ボランティアは地域や保護者の協力により増加傾向にあり、令和 6 年度は小学校 37 校・中学校 2 校で読み聞かせ等が行われました。									
学校図書館の資料整備	<ul style="list-style-type: none">・選書については、教科書紹介図書や分類別蔵書配分比率、教職員からの要望、児童・生徒からのリクエストを参考に、計画的な資料購入に努めました。・各学校に図書分類の適正配分比率などを周知し、蔵書の適正配備に努めました。									
■学校図書館蔵書数（小・中学校合計）										
年 度	R1	R2	R3	R4	R5	R6				
蔵書数	628,772	636,487	641,718	657,393	667,266	678,439				
達成状況	基準値					○				

【今後の課題】

○全校一斉の読書活動などの普及

- ・全校一斉の読書活動など、学校において読書の機会が確保されることは、本を読む習慣のない子どもにとって読書習慣が身に付くきっかけとなり、不読率の改善につながる可能性があります。今後も読書時間を確保し、読書活動の推進に取組むことが大切です。

- ・達成基準「学校図書館貸出冊数（小・中学校合計）」は増加で推移しています。今後も学校図書館の計画的な活用を図り、児童生徒の自主的・自発的な読書活動を充実することが重要です。

○読書活動を支える人材づくり

- ・学校司書（注14）は、研修や講座へ参加し子どもの読書に関する知識を習得するとともに、司書教諭（注15）等と情報共有しながら子どもの読書活動の支援に取組む必要があります。

○学校図書館の環境整備・図書資料の充実と活用

- ・インターネット情報を活用した学習形態が増加傾向にあるため、図書資料・インターネット情報の双方を活用した情報活用の在り方を検討していく必要があります。1人1台端末と様々な図書資料が同時に活用できる学習を学校図書館で行えるよう、環境整備が望されます。
- ・成果指標「学校図書館蔵書数（小・中学校合計）」は増加傾向で推移しています。引き続き、策定した購入計画を基に、幅広い図書資料の収集が求められます。

（4）図書館

施策	主な取組の成果																												
読書環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館に利用者用の無料のWi-fiサービスを開始しました。 ・中央図書館の児童室内に自動貸出機を整備しました。 ・中央図書館に専用の読書相談カウンターを設置し、誰もが相談しやすい環境を整えました。 ・デジタル社会に対応した環境整備のために、令和6年3月からいつでもどこでも読書を楽しめるインターネット上の電子図書館サービス「くるめ広域電子図書館」（注16）を開始しました。 <p>■令和6年度電子図書館貸出冊数（18歳までの市内利用者）：3,521冊</p>																												
図書資料の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの様々な興味・関心に応えるため、様々な分野の児童図書の整備に取組みました。 ・各図書館では、季節や時事に関する様々な資料展示を行い、普段手に取らないようなテーマの本に触れる機会を提供しました。 <p>■児童図書蔵書数（冊）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蔵書数</td><td>260,830</td><td>263,695</td><td>268,117</td><td>271,865</td><td>273,433</td><td>277,693</td></tr> <tr> <td>達成状況</td><td>基準値</td><td colspan="5" rowspan="2"></td><td>○</td></tr> </tbody> </table>							年 度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	蔵書数	260,830	263,695	268,117	271,865	273,433	277,693	達成状況	基準値						○
年 度	R1	R2	R3	R4	R5	R6																							
蔵書数	260,830	263,695	268,117	271,865	273,433	277,693																							
達成状況	基準値						○																						
読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・各図書館では、子どもが本と出会い、読書の楽しさを知るきっかけづくりのために、定期的、季節ごとの事業を実施しました。 ・ブックスタート参加者を図書館利用につなげるため、赤ちゃん向けや2～3歳児向けおはなし会の定期的な実施に取組みました。 ・広く児童文学の世界に親しんでもらうために、市民を対象に児童文学講演会を開催しました。 ・ブックトーク（注17）を中心図書館や小学校等でを実施しました。 ・司書職員をゲストティーチャーとして小学校に派遣しました。 ・中高生等対象のミニビブリオバトル（注18）、小学生対象のビブリオトークを実施し、同世代で本を勧めあう場を設けました。 																												

	<ul style="list-style-type: none"> ・「団体貸出」による学童保育所などでの読書支援や「特別貸出」(注 19)による学校への授業支援に取組みました。 ・未登録の新小学 1 年生を対象に、学校の協力を得て、毎年 5~6 月期に利用カードの登録を推進しました。 ・調べ学習に役立つ資料の提供、子ども用パスファインダー(注 20)を追加作成し、公開・配布しました。 ・病院内学級(注 21)に対し、コロナで休止していた団体貸出の再開や再活用図書(注 22)の配布など読書活動支援に取組みました。 ・中央図書館ではバリアフリー図書コーナー(りんごのたな)を設置し、点字付きの図書や LL ブック(注 23)などの資料を整備しました。また、関連団体と連携し、手話のおはなし会や手話あそび・ワークショップを開催しました。 ・LINE 等を活用し、ブックスタートや子ども向けイベントなどの情報発信に努めました ・石橋文化センター内のイベント等と連携し、園庭や施設を活用したおはなし会を実施しました。 																					
■児童図書貸出冊数																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸出</td><td>521, 586</td><td>462, 597</td><td>475, 751</td><td>554, 549</td><td>537, 556</td><td>532, 559</td></tr> <tr> <td>達成状況</td><td>基準値</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> </tbody> </table>	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	貸出	521, 586	462, 597	475, 751	554, 549	537, 556	532, 559	達成状況	基準値					○
年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6																
貸出	521, 586	462, 597	475, 751	554, 549	537, 556	532, 559																
達成状況	基準値					○																
ボランティア養成・支援 <ul style="list-style-type: none"> ・1 人でも多くの方が図書館事業に関心を持ち、協力して参加していただけるよう、ボランティア養成講座を実施しました。 ・学校や図書館で活動するボランティアのスキルアップのため、絵本の読み聞かせ等の研修会を実施しました。 																						
■子どもの読書関連ボランティア登録人数																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボランティア数</td><td>279</td><td>257</td><td>228</td><td>224</td><td>219</td><td>214</td></tr> <tr> <td>達成状況</td><td>基準値</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>×</td></tr> </tbody> </table>	年 度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	ボランティア数	279	257	228	224	219	214	達成状況	基準値					×
年 度	R1	R2	R3	R4	R5	R6																
ボランティア数	279	257	228	224	219	214																
達成状況	基準値					×																
学校図書館との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館との連携・協力体制の強化を図るため、定例連絡会議や合同研修会を実施しました。 ・各図書館では、新たな取組として、地域の小中学校等の学校司書との情報交換会を定例化し、学校図書館・市立図書館間の顔の見える関係づくりに取組みました。 ・児童生徒が利用する 1 人 1 台端末の子どもポータルサイトトップページに「くるめ広域電子図書館」のアイコンを表示するなど、電子図書館サービスの利用促進に取組みました。 ・移動図書館による学校への巡回や図書館資料を授業等に活用するための特別貸出、読書活動支援セット「本のたからばこ」(注 24) の提供などを実施しました。 																						
司書の専門性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館では、運営の充実を図るため、司書有資格者を継続して採用してきました。司書には専門的な知識や技術の習得のため、館外研修への積極的な参加や館内研修の実施など人材育成に取組みました。 																						

【今後の課題】

○読書環境の整備

- ・図書館は子どもにとって身近で気軽に様々な本に出会える場所です。引き継ぎ、居心地の良い空間づくりへの工夫や保護者等とも一緒に参加できる事業の実施により、子どもや保護者に様々な目的で来館してもらえるよう努めていく必要があります。

○図書資料の整備

- ・成果指標「児童図書蔵書数」は増加傾向で推移しています。デジタル社会に対応し、子どもたちが個々の発達段階や状況に応じて電子書籍・紙書籍を柔軟に選択できるように、幅広い資料を収集し提供することが必要です。
- ・障害のある子どもをはじめ、入院等の事情で来館できない子どもや、日本語を母語としない子どもなど、子どもたちの状況は多岐にわたります。多様な状況に対応できるよう音声ディジタル（録音図書）・点字図書や大活字本、LLブック、外国語の読み物、布の絵本など、バリアフリー図書を充実し利用促進に取組んでいく必要があります。

○読書活動の推進

- ・図書館では、子どもたちを対象に様々な事業の実施に取組んできました。成果指標「児童図書貸出冊数」は、コロナ禍で減少し、近年は回復傾向で推移していますが、不読率は改善されていない状況が続いています。そのため、子どもたちが、保護者や身近な大人、友達などと一緒に楽しむことができる事業や取組をとおして、子どもと大人が読書の楽しさを共有できる機会の提供に取組んでいく必要があります。
- ・電子書籍は、スマートフォンやタブレットから気軽に本が読めるツールですが、電子書籍を読むという活動には、まだなじめていない状況も伺えます。「くるめ広域電子図書館」サービスの広報・周知に努め、子どもたちの利用を促進する必要があります。
- ・中高生等が図書館を利用するきっかけづくりのために、各学校の職場体験を積極的に受入れてきました。今後はさらに、読書に関心を持てる取組の検討が必要です。
- ・事業の実施にあたっては、子どもの意見聴取の機会を確保するとともに、子どもの視点に立った読書活動を推進していく必要があります。

○ボランティアの養成・研修の実施

- ・成果指標「子どもの読書関連ボランティア登録人数」は減少傾向にあります。主な要因としては、ボランティアの高齢化やなり手がないといったことが考えられます。
- ・子どもの読書活動の推進にあたっては、おはなしボランティア、ブックスタートボランティアなどをはじめ、ボランティアの存在とその役割が重要です。ボランティアの減少は図書館事業にも大きな影響があるため、多様な市民が読書活動の推進に参加できるように、他自治体の図書館ボランティアの活動状況を参考に研究していく必要があります。また、引き継ぎ、読み聞かせ等のボランティアの養成、スキルアップ研修の実施、各種情報の提供など、ボランティア活動の活性化を促す働きかけに取組んでいく必要があります。

○学校図書館とのさらなる連携

- ・学校図書館と市立図書館の連携・協力体制の強化を図るため、地域の小中学校等の学校司書との情報交換会を通じて、引き続き顔の見える関係づくりに取組んでいく必要があります。
- ・子どもたちの様々な資料要求に応えるために、図書館ホームページからの蔵書検索や予約等のwebサービス、電子図書館サービスの利用について、学校図書館と連携した情報発信の強化が必要です。

○司書の人材育成

- ・児童図書の選択・収集・提供・読書相談、子どもの読書活動の取組の企画・実施に高い専門性をもって対応できるよう、計画的な研修の実施、司書の知識や技能の習得に取組んでいく必要があります。

(5) ネットワーク

施策	主な取組の成果
進行管理 連携・協力	<ul style="list-style-type: none">・関係各課と連携し、子どもの読書活動推進計画の進捗状況を管理しました。・ブックスタート事業の実施にあたっては、図書館とこども子育てサポートセンター職員とボランティアが協力して取組ました。(再掲)・石橋文化センター内のイベント等と連携し、園庭や施設を活用したおはなし会を実施しました。(再掲)・関係団体と連携し、手話のおはなし会や手話あそび・ワークショップを開催しました。(再掲)

【今後の課題】

○子どもの読書活動推進のための連携・協力

- ・図書館、学校図書館、関係部局・機関などが連携・協力し、ネットワークを生かした取組を行うことで、今後も継続して子どもの読書活動の推進を図っていく必要があります。
- ・計画が着実に実行されるよう進捗状況を管理し、計画の評価・課題の検討を行う必要があります。

2 子どもと保護者への意見聴取から見える現状と課題

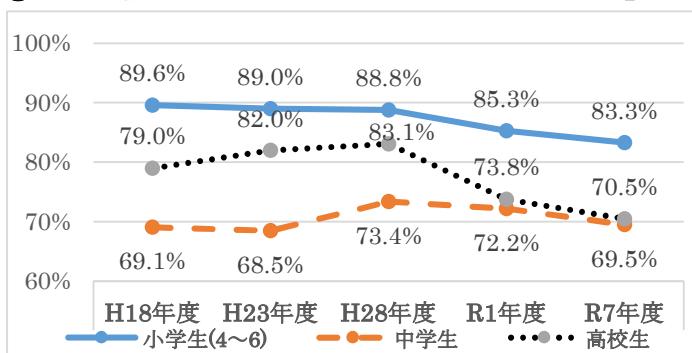
(1) 子どもの読書活動に関するアンケート調査

久留米市は、「子どもの読書活動推進計画」策定の基礎資料とするため、過去4回、小中学生、高校生、保護者を対象に「子どもの読書に関するアンケート調査」を行ってきました。

令和7年度調査は、アンケート用紙から「Google フォーム」を活用した電子アンケートに変更しました。このことにより、大幅に回答数が増え、より実態に近い結果になったと考えています。

調査結果を踏まえ、久留米市の子どもの読書活動の現状と課題を以下のとおり分析しました。

①「本を読むのが好き・どちらかというと好き」の割合



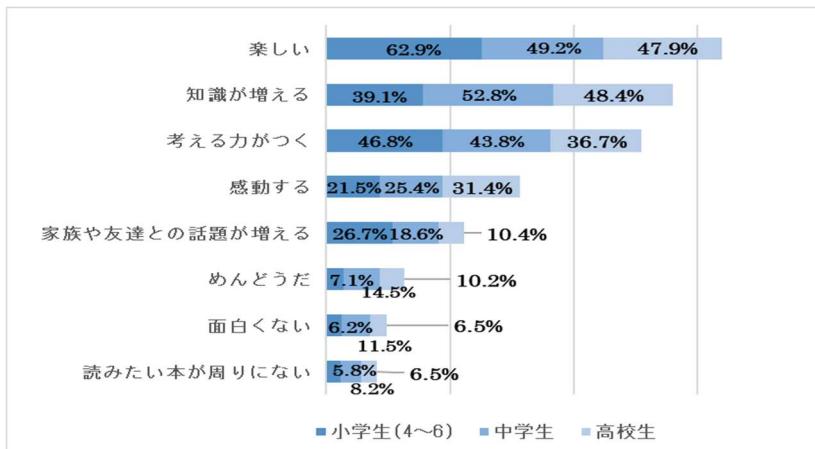
- 読書が「好き」「どちらかというと好き」と回答した子どもの割合は、小中学生、高校生いずれも低下しました。

②「本を読むのが好き・どちらかというと好き」×「1ヶ月の読書量」

本を読むのが好き・どちらかというと好き	10冊以上／月	1冊～9冊／月	0冊／月（不読）
小学生	83.3% (4,128人)	40.6% (1,677人)	51.3% (2,118人)
中学生	69.5% (3,948人)	15.1% (595人)	69.1% (2,727人)
高校生	70.5% (866人)	3.1% (27人)	86.6% (750人)

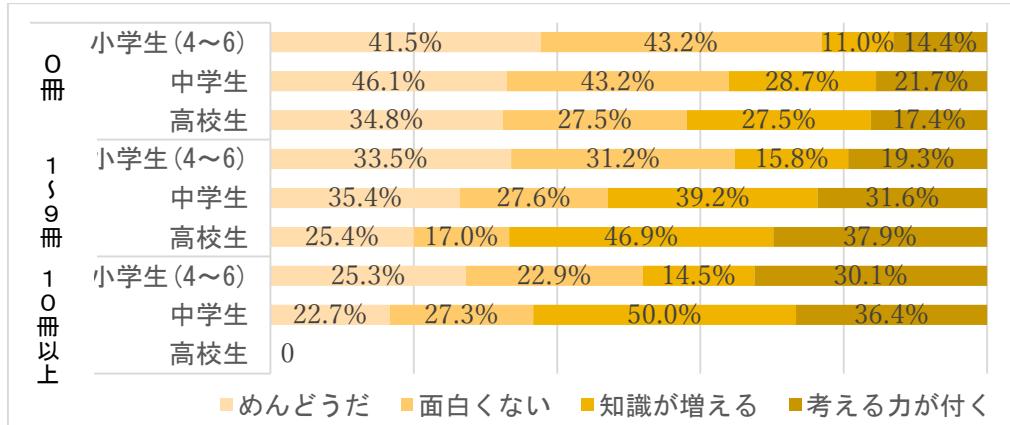
- 読書が「好き」「どちらかというと好き」の回答者にも「冊／月（不読）」は一定数おり、その理由として「読書の時間が確保できない」「読みたいと思わなかった」といった回答が寄せられています。

③本を読むことについてどう思うか（複数回答可）



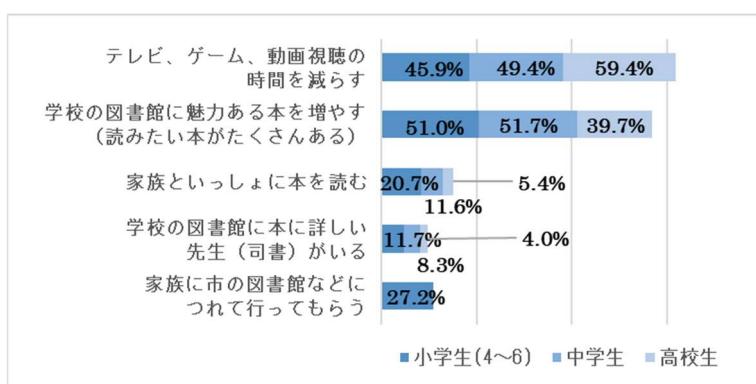
- 小学生は「楽しい」が最も多く、次に「考える力がつく」の順、中高生は「知識が増える」が最も多く、次に「楽しい」の順となっています。

④「本を読むのが嫌い・どちらかというと嫌い」×「1カ月の読書量別」×「本を読むことについてどう思うか」の割合



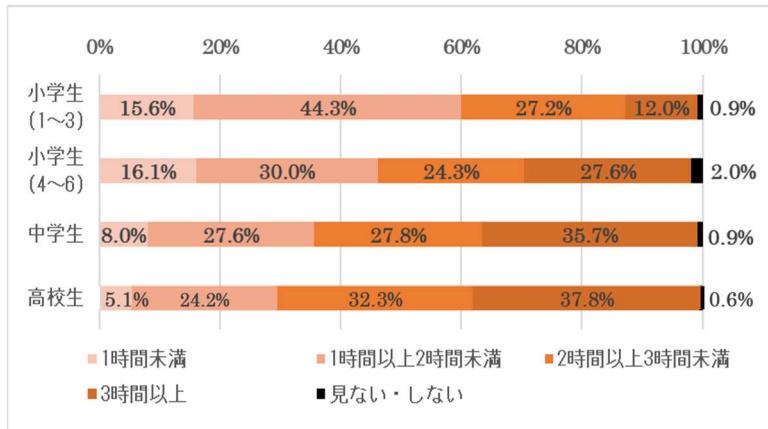
- 「本を読むのが嫌い・どちらかというと嫌い」と回答した小中学生、高校生は、読書量が少ないほど「めんどうだ」「面白くない」などマイナス傾向の回答が多く、一方で読書量が多い中学生、高校生では「知識が増える」「考える力がつく」などプラス傾向の回答も見受けられます。

⑤どうすれば今までよりたくさんの本を読めるようになるか（複数回答可）



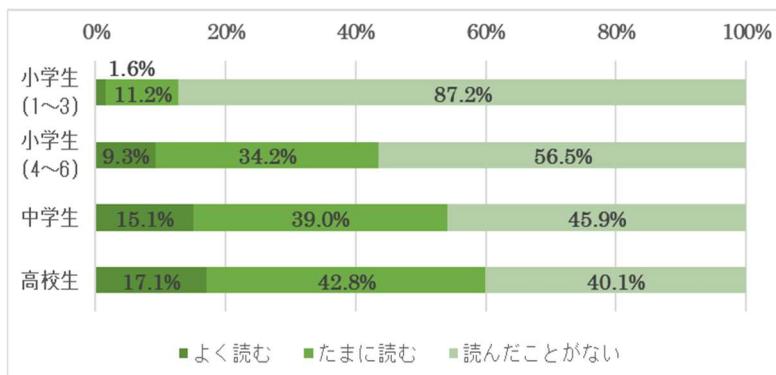
- 全体的に「テレビ、ゲーム、動画視聴の時間を減らす」と「学校の図書館に魅力ある本を増やす」が多い回答でした。

⑥1日のテレビ、ゲームや動画の視聴時間について



- 全体的にみると、学年が上がるにつれ、1日のテレビ、ゲームや動画の視聴時間は長くなる傾向がみられます。
- インターネット、ゲーム機器等が子どもたちの生活に大きく関わっていることが伺えます。

⑦電子書籍について

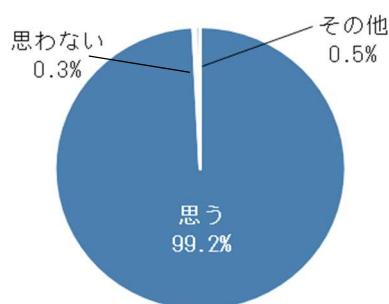


- 学年が上がるにつれ、電子書籍の利用数は増加傾向にありますが、小学生高学年以上の約半数が電子書籍を読んだことがないと回答しています。

⑧保護者へのアンケート結果について（回答率 45.5%）

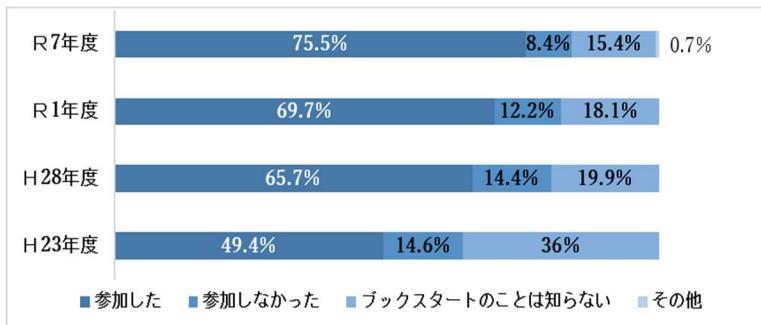
※保護者：小学1～3年生、特別支援学校小学部の保護者

ア. 子どもが読書をすることは大切だと思うか



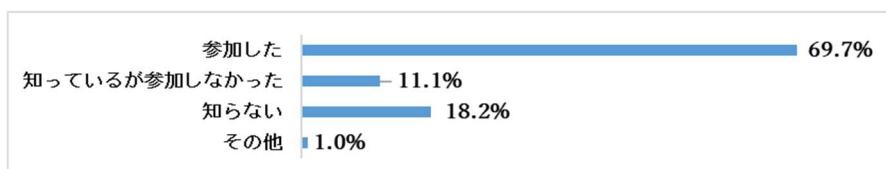
- 回答のあった保護者の多く（99.2%）が、「子どもが読書をすることは大切」と答えています。

イ. ブックスタートに参加したか



- 子どもが乳幼児期にブックスタートに「参加した」と回答した保護者は、増加傾向で推移しており、ブックスタート事業への参加に対する理解が広がってきたことが伺えます。

ウ. 本を読むことが嫌いな保護者のブックスタート参加割合



- 本を読むことが「嫌い・どちらか」というと答えた保護者のうち、ブックスタートに「参加した」割合は69.7%であり、保護者自身が本を読むことが好きか嫌いかに左右されることなく、子どもと絵本に親しむことについては抵抗が少なく、子育てに絵本を取り入れることに前向きであることが伺えます。

エ. 子どもの読書に関する自由意見

アンケートに回答いただいた保護者の方々から、子どもの読書に関する自由意見を多数お寄せいただきました。

【保護者から見た子どもの読書の現状】

- ・動画やゲームばかりしたがり、本を読まない。
- ・子どもの読書時間については、共働きで親の時間がないため、一緒に読書等の時間を取るのが難しい。
- ・インターネットの普及で以前より、本で調べることは少なくなったと思う。本で感じる世界をもっと感じてほしいと思う。
- ・小学校で週に一度「としょのじかん」を設けてあるそうで、とても嬉しそうに図書室へ行っているようだ。授業で本に触れる時間がある事はとてもいいことだと思う。

【読書推進のための取組み】

- ・子どもの学校では子ども達が本に親しむいろんな取り組みをされていて、元々好きな読書をする機会が益々増えた。
- ・学年ごとにオススメの本の紹介をもっとして欲しい。
- ・一日に5分でも、家族みんなで本を読む時間を作ると良いと思う。

【学校・学校図書館への要望】

- ・学校で読書をする機会をもっとつくってほしい。
- ・図書館の蔵書を充実してほしい。
- ・学校の図書室の利用にあたって、制限が多い。もう少し緩和してもらえると、子ども自身で利用できる。
- ・学校図書館でも読み聞かせなどをもっと取り入れてもらえたらしいと思う。

【子どもの読書への思い】

- ・こどもの特性により字を読むことが苦手なこともあるので、皆読みましょうと勧めるのではなく、ひとりひとりに合った本(絵本でも漫画でも図鑑でも)と一緒に探すことも大事だと思う。
- ・読書は知識や教養、創造性など色々な力を身につけさせてくれる、人間を豊かにしてくれるものだと思っている。どんな人でも気軽に本に触れられる機会が増えると良いと思う。
- ・読むのが遅くても、少なくとも、自分の中に言葉や知識が染み込んでいたり、発見をしたりの経験の素晴らしさが読書の良さだと思う。そこを私達大人は理解して子どもに伝えていく必要があると思う。

(2) 子どもへのインタビュー

図書館では、子どもの意見を第5次計画に反映するために、アンケート調査とは別に、インタビュー形式で計画に関する意見を聴取しました。

- ・期間：令和7年7月17日（木）～9月5日（金）
- ・内容：小学4～6年（2件 16人）：一日図書館員
：中学生（9件 26人）：職場体験学習
：高校生（5件 28人）：インターンシップ、中央図書館でイベント実施

ア. 小学生

■質問1 どんな図書館だったら行ってみたいですか（複数回答）

項目	回答数	割合	意見の反映
① 読みたい本がたくさんある	7人	44%	計画を通して、みなさんが使いたくなるような図書館づくりに努めます。 【参考】関係する部分（P8） ・読書環境の整備 ・図書資料の整備
② 楽しそうなイベントがある	11人	69%	
③ ホッとする・ゆっくりできる場所がある	11人	69%	
④ その他			
・図書館の中に食べたり飲んだりくつろげる場所がほしい。 ・家の本なども持込んで自由に過ごせる所があると嬉しい。			

■質問2 どんな本がたくさんあるといいですか（複数回答）

項目	回答数	割合	意見の反映
① 物語	10人	63%	計画を通して、みなさんが本を読みたくなるように取組みます。
② 図鑑・伝記・クイズなど	8人	50%	【参考】関係する部分（P8～9） ・図書資料の整備（再掲） ・学校図書館とのさらなる連携
③ マンガ	12人	75%	
④ その他			
・読みやすいものがよい。			

■質問3 どんなイベントに参加してみたいですか（複数回答）

項目	回答数	割合	意見の反映
① おはなし会、ブックスタート	4人	25%	計画を通して、みなさんが参加したくなる図書サービスの充実に努めます。
② 工作・科学あそび	13人	81%	【参考】関係する部分（P8～9） ・ボランティアの養成・研修の実施 ・学校図書館とのさらなる連携（再掲） ・司書職員の人材育成
③ お仕事体験	16人	100%	
④ 本を紹介しあうイベント（ビブリオトーク・バトル）	8人	50%	
⑤ その他			
・スタンプラリーのようなイベント			

イ. 中学生

■質問1 本を読むのは好きですか

項目	回答数	割合
① 好き・どちらかというと好き	20人	77%
② 嫌い・どちらかというと嫌い	6人	23%

■質問2 最近1ヶ月の間に本や電子書籍、マンガを何冊ぐらい読みましたか

項目	本や電子書籍	割合	マンガ	割合
① 1～5冊	13人	50%	12人	46%
② 6冊以上	9人	35%	8人	31%
③ 0冊	4人	15%	6人	23%

■質問3 本や電子書籍を読まなかつた理由は何ですか（0冊回答者：複数回答）

項目	回答数	割合	意見の反映
① 時間はあったが、読書以外の好きなことに費やした	2人	8%	計画を通して、みなさんが読書に楽しめるよう取組みます。
② 読みたい本がなかった	3人	12%	【参考】関係する部分（P8～9） ・図書資料の整備（再掲） ・学校図書館とのさらなる連携（再掲）
③ ただ読まなかつただけ	2人	8%	

■質問4 学校図書館や市立図書館への要望があれば、教えてください（複数回答）

項目	意見の反映
◇市立図書館	
① 座る所を増やしてほしい	
② 今のままでいい	
③ マンガを増やしてほしい	
④ 中学数学・理科の本をもっと増やしてほしい	
⑤ 本を読むスペースがもう少しあった方がいい	計画を通して、みなさんが使いたくなるような図書館づくりに努めます。 【参考】関係する部分（P8） ・読書環境の整備（再掲） ・図書資料の整備（再掲）
⑥ 中学、高校生向けのコーナーがほしい	
⑦ DVDの数を増やしてほしい	
⑧ 貸出期間を延ばしてほしい	
◇学校図書館	
① もっと図書室を広くして蔵書を増やしてほしい	
② マンガを増やしてほしい	
③ 新しい本を増やしてほしい	
④ ゆっくりできるスペース・勉強できるスペースがほしい	
⑤ 貸出期間を延ばしてほしい	
⑥ 利用時間、使える日を増やしてほしい	【参考】関係する部分（P6） ・学校図書館の環境整備・図書資料の充実と活用

ウ. 高校生

■質問1 本を読むのは好きですか

項目	回答数	割合
③ 好き・どちらかというと好き	28人	100%
④ 嫌い・どちらかというと嫌い	0人	0%

■質問2 最近1ヶ月の間に本や電子書籍、マンガを何冊ぐらい読みましたか

項目	本や電子書籍	割合	マンガ	割合
④ 1~5冊	24人	86%		
⑤ 6冊以上	2人	7%	21人	75%
⑥ 0冊	2人	7%	7人	25%

■質問3 本や電子書籍を読まなかつた理由は何ですか（0冊回答者：複数回答）

項目	回答数	割合	意見の反映
① 時間はあったが、読書以外の好きなことに費やした	4人	36%	計画を通して、みなさんが読書に楽しめるよう取組みます。 【参考】関係する部分（P8～9） ・図書資料の整備（再掲） ・学校図書館とのさらなる連携（再掲）
② 読みたい本がなかった	2人	7%	
③ 部活で時間がなかった	1人	4%	

■質問4 学校図書館や市立図書館への要望があれば、教えてください（複数回答）

項目	意見の反映
◇市立図書館	
① マンガをテーマにした交流会をしてほしい	計画を通して、みなさんが参加したくなるような企画を検討します。
② ポランティア体験がしてみたい	
③ イベント後の交流会に参加してみたい	
④ イベントに参加したら景品があるとよい	【参考】関係する部分（P9） ・司書職員の人材育成（再掲）
◇学校図書館	
① 古い新聞の切り抜きや持ち帰りができるコーナーを作ってほしい	【参考】関係する部分（P6 ） ・読書活動を支える人材づくり ・学校図書館の環境整備・充実（再掲）
② 学生向けの本を増やしてほしい	

3 国の子ども読書活動推進の課題

国の「第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（令和5年3月施行）では、子どもの不読率は、第四次基本計画の数値目標を達成しておらず、特に、高校生の不読率は小中学生に比して高いことを課題としています。

子どもの読書活動の現状として、新型コロナウイルス感染症の拡大以降に、1ヵ月に本を1冊も読まない子どもの割合が上昇しており、その原因として、各学校の臨時休校等により学校図書館へのアクセスが制限されたことが可能性として挙げられています。

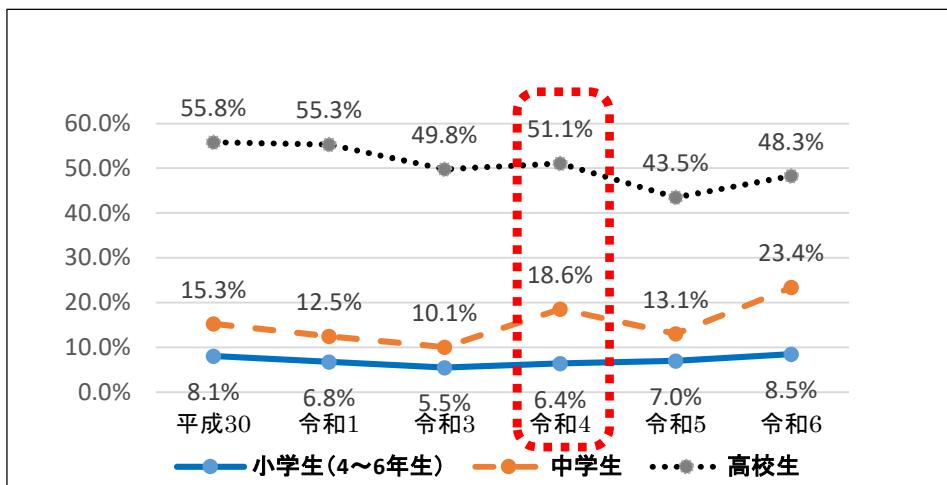
また、「不読率の低減」、「多様な子どもたちの読書機会の確保」、「デジタル社会に対応した読書環境の整備」及び「子どもの視点に立った読書活動の推進」の4つの基本の方針を掲げ、社会全体で子どもの読書活動を推進する必要があるとしています。

「第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（令和5年3月施行）における「不読率」改善目標値

区分	平成29年度（実績値）	令和4年度（実績値）	令和4年度（目標値）
小学生	5.6%	6.4%	2%以下
中学生	15.0%	18.6%	8%以下
高校生	50.4%	51.1%	26%以下

※「第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」では、策定以降の不読率の改善目標数値は設定されていません。

不読率の推移（全国）



4 久留米市における「第4次計画の目標とする数値」の達成について

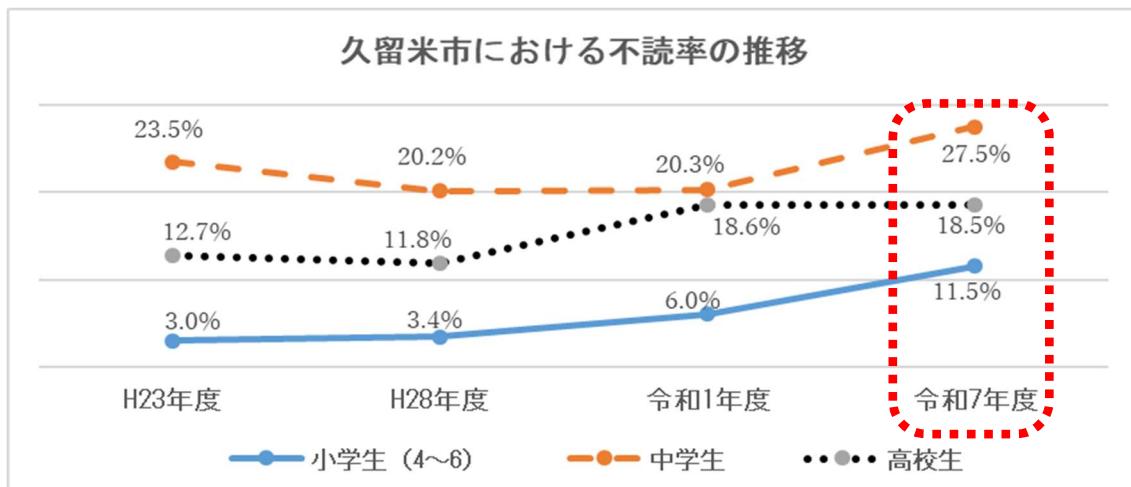
(1) 読書量・不読率の状況

読書量・不読率の推移（久留米市）

項目	区分	H18年度	H23年度	H28年度	R1年度	R7年度	R7年度 (目標値)	全国平均 (R7年度)
1ヶ月の読書量	小学生	6.4冊	6.1冊	6.8冊	6.2冊	8.6冊	-	12.1冊
	中学生	2.2冊	2.8冊	3.0冊	3.4冊	3.7冊	-	3.9冊
	高校生	1.7冊	2.0冊	2.2冊	2.1冊	1.7冊	-	1.4冊
1ヶ月に1冊も本を読まなかった割合 (不読率)	小学生	3.1%	3.0%	3.4%	6.0%	11.5%	2.5以下	9.6%
	中学生	26.5%	23.5%	20.2%	20.3%	27.5%	15.0以下	24.2%
	高校生	16.9%	12.7%	11.8%	18.6%	18.5%	-	55.7%

※小学生は4~6年生

※全国平均は「令和7年第70回全国学校読書調査」から引用（主催：全国学校図書館協議会）



- 令和7年度の1ヶ月の読書量の平均冊数は、小学生8.6冊、中学生3.7冊、高校生1.7冊で、前回調査（R1年度）に比べ、小学生は2.4冊増加、中学生は0.3冊増加、高校生は0.4冊減少しました。
- 令和7年度の不読率は、小学生11.5%、中学生27.5%、高校生18.5%で、前回調査（R1年度）に比べ、小学生は5.3ポイント上昇、中学生は7.2ポイント上昇、高校生は0.1ポイント減少しました。全国と比較しても高校生を除き不読率が高い状況となっています。
- 高校生の不読率が全国の調査結果より約30%低いのは、市立高校2校のみの調査であるという要因はあるものの、市立高校で朝読書などの活動が継続的に行われているためと思われます。

(2) 目標数値の達成について

第4次計画では、家庭・地域、保育所・幼稚園・認定こども園、学校、図書館の各領域で施策の実施に取組んできました。しかしながら、令和7年度の不読率は、高校生以外は令和元年度実績値より上昇（悪化）し、「第4次計画の目標とする数値」として掲げていた不読率目標値を達成することができませんでした。

アンケート調査結果からは、「読書は好き」でも「他のことに時間をとられて読むことができなかつた」「読書時間を他の時間にあてたい」などの回答が寄せられています。背景には、デジタル情報に触れる時間が長くなり、子どもたちを取り巻く環境が変化していることや子ども自身の興味・関心が読書以外に向き、読書時間の確保が難しくなっていることなどが考えられます。

また、「読書は嫌い」の回答者には、「読書がめんどうだ」「面白くない」と感じている子どもが一定数いることから、読書に興味・関心を持てるような取組が子どもたちに届いていなかつたことも不読率目標値を達成できなかつた要因の1つと考えます。

学校においては、「朝読」や「すきま時間の読書」等の読書時間を含め推進活動が実施されていますが、各学校での実施回数や時間は様々であり、学校での読書時間内に1冊読み切れるとは限らないと考えます。こうしたことでも不読率上昇の要因の一つと思われます。

5 総括

久留米市は、家庭・地域、学校、図書館など、子どもたちの身近な場所に読みたい本がある環境を生かし、子どもが読書に親しめる環境づくりや子どもの発達段階に応じて読書への関心を高める取組を行ってきました。その結果、学校図書館貸出冊数や図書館児童図書貸出冊数の増加につながりました。その一方で、1ヵ月に1冊以上読む子どもの割合は減少傾向となっており、その要因を捉えた取組の検討が必要です。

近年、子どもたちには1人1台端末が整備され、あらゆる場所でICTの活用が日常のものとなりました。スマートフォンやタブレットなどの普及により、社会では電子書籍やオーディオブックの利用が広がっています。

こうした環境の変化を踏まえ、紙書籍ならではの体験を大切にするとともに電子書籍を整備することで、様々な環境や子どもの発達段階に応じた読書媒体を推奨することが大切です。

紙書籍の特性は、紙の触り心地や本特有のにおいなど、感覚的な面があり五感を通じて本と接することができます。また、ページを行き来しながらじっくり読めるため、深く学んだり内容をしっかりと記憶するのに適しています。一方、電子書籍の特性は、検索や拡大、縮小、読み上げ機能など便利な機能があり、多量の書籍を容易に持ち運びでき、読む人のライフスタイルに合わせた読書活動が可能となります。

今後、社会全体で**多様な**子どもの読書活動を推進していくために、それぞれの発達段階や個性に応じて読書への関心を高める施策の実施、紙書籍・電子書籍を柔軟に選択できる環境の整備、デジタル情報源の有意義な活用方法の支援に一層取組んでまいります。

第2章 計画策定の基本的な考え方

1 計画の目標

子どもたちがそれぞれの発達段階・個性に応じて、身近な場所で本と出会い、読書を通して心豊かな生活を送ることができるような環境の整備を社会全体で推進していくことを目標とします。

2 計画の基本方針

計画推進のために以下の基本方針を定めます。

(1) 家庭・地域、学校等、図書館の連携・協力による取組の推進

子どもが身近な場所で本と出会い、読書を習慣として身に付けることができるよう、家庭・地域、保育所・幼稚園・認定こども園、学校、図書館が連携・協力し、施策を実施することにより子どもの読書活動を支援します。

また、保護者、学校関係者、ボランティアをはじめとする多くの市民の理解と関心を得るための広報・啓発の取組を推進します。

(2) 子どもの読書環境の整備

紙書籍と電子書籍の充実に努め、子どもがライフスタイルに応じて読みたい本を選択し、読みたい時間に読みたい場所で、主体的に読書活動を行える環境を整備していきます。

また、子どもたちと本との出会いを支援する人の育成にも力を入れていきます。

(3) 多様な子どもたちの読書機会の確保

読書バリアフリー法（令和元年施行）を踏まえ、障害のある子どもや日本語能力に応じた支援を必要とする子どもなどが利用しやすい紙書籍・電子書籍（点字図書、録音図書、大活字本、LLブック、布の絵本、オーディオブック、外国語の読み物等）を整備し、多様な子どもたちの読書機会の確保に努めます。

3 計画の対象

0歳からおおむね18歳以下の子どもとします。

4 取組や現状を把握する指標

計画全体の達成度を図るための到達目標は定めませんが、施策の進捗状況を客観的に把握するため、「取組や現状を把握する指標」を設定します。

【取組や現状を把握する指標】

	取組指標	現状値 (1.2 は令和 7 年度) (3~10 は令和 6 年度)	各領域での取組	備考 (令和元年度)
1	不読率	小学生 11.5% 中学生 27.5% 高校生 18.5% ※小学生は 4~6 年生	(1) 家庭・地域 (2) 保育所・幼稚園等 (3) 学校 (4) 図書館	小学生 6.0% 中学生 20.3% 高校生 18.6% ※小学生は 4~6 年生
2	本を読むのが好き・どちらかというと好き	小学生 83.3% 中学生 69.5% 高校生 70.5% ※小学生は 4~6 年生	(1) 家庭・地域 (2) 保育所・幼稚園等 (3) 学校 (4) 図書館	小学生 85.3% 中学生 72.2% 高校生 73.8% ※小学生は 4~6 年生
3	ブックスタート参加率	58.5%	(1) 家庭・地域 (4) 図書館	54.7%
4	地域子育てサロンでの読み聞かせ校数 ※支援センター職員による実施	25 力所	(1) 家庭・地域	24 力所
5	団体貸出を活用し読書活動を推進した学童保育所数	44 力所	(1) 家庭・地域 (4) 図書館	44 力所
6	学校図書館蔵書数 (小・中学校合計)	678,439 冊	(3) 学校	628,772 冊
7	学校図書館貸出冊数 (小・中学校合計)	1,282,506 冊 1 人当たり約 53 冊	(3) 学校	1,219,776 冊 1 人当たり約 50 冊
8	児童図書蔵書数	277,693 冊	(4) 図書館	260,830 冊
9	児童図書貸出冊数	532,559 冊	(4) 図書館	521,586 冊
10	図書館ボランティア数	214 人	(4) 図書館	279 人

5 計画の期間

令和 8 年度から令和 12 年度までの 5 年間とします。

第 1 次	第 2 次	第 3 次	第 4 次	第 5 次
平成 19~ 23 年度 (5 年間)	平成 24~ 28 年度 (5 年間)	平成 29~ 令和元年度 (3 年間)	令和 2~ 7 年度 (6 年間)	令和 8~ 12 年度 (5 年間)

第3章 計画推進のための方策

1 発達段階に応じた方策の方向性

計画の目標を達成するために、子どもの発達段階ごとの特徴を踏まえ、家庭・地域、保育所・幼稚園・認定こども園、学校、図書館の各領域において、様々な方策に取組みます。

(1) 乳幼児期

乳幼児期においては、保護者や周囲の人からの温かくやさしい語りかけの一つの手段として、絵本の読み聞かせを行い、穏やかで幸せな時間を共有する中で、子どもは心の基礎が育まれます。また、語りかけにより様々な言葉を習得し、本に興味を持つ第一歩ともなります。第4次計画における各種施策を基本とし、乳幼児期から生活の中で保護者と本に親しむ機会がもてるよう取組を推進します。

乳幼児に対する絵本の読み聞かせなど語りかけの大切さを伝えるため、おはなし会の実施や保護者への啓発を行います

(2) 学童期（小学生）

学童期は、読書習慣を身につける上で重要な時期です。絵本の読み聞かせからひとり読みに移行していく中で、子どもたちが読書の楽しさを知り、心に残る本と出会えるよう、学校や図書館はその読書活動を支援する大きな役割を担っています。

低学年では、引き継ぎ、絵本の読み聞かせが大切です。読み手と本の楽しさを共有したり、自由に想像の世界を広げるという体験によって、子どもたちは想像力や感性を育みます。

中学年からは、本格的にひとり読みができる時期に入り、自分の興味や関心に応じた読書を楽しむ中で、読書が習慣化されます。さらに、1人1台端末や紙書籍を活用した調べ学習に取組むことにより、知的好奇心を喚起し、読書の幅を広げていきます。

子どもたちにとって電子媒体が身近になる中、今後も子どもの発達段階・個性に応じて、紙書籍、電子書籍それぞれの利点を踏まえた読書機会の提供に努めます。

学童期に読書の楽しさを知るとともに、紙書籍やデジタル情報源から正しい知識を得る力を身に付けることができるよう、小学生の読書活動を支援していきます

(3) 青年前期・中期（中高校生等）

進学や就職を控えて、自分の将来や生き方について考える時期であり、目的をもつて本を読んだり、知識を深めるための読書を行うようになります。

一方で、年齢を重ねていく中で、自分にとって居心地の良い行動を選ぶ時間が増えることから、本から離れてしまう時期もあります。

中高生等が読書の必要性を感じ、自主的に読書に興味・関心をもてるよう、中高生等の意見も反映しながら資料の充実を図るとともに取組の推進に努めます。

中高生等が互いに読書を通して交流できるような機会を設けたり、YA 図書

(注 25) の整備や電子図書館の利用を促進するなど、大人になっても継続して

読書に親しむことができるよう支援していきます

2 各領域での方策の展開

(1) 家庭・地域

① 家庭での読書活動への支援

家庭は、子どもが最初に本に出会い、その楽しさを知る場所です。ブックスタートの未参加家庭が、どのようにすればブックスタートの恩恵を受けることができるのか対応策の検討を進めていきます。

「子どもの読書に関するアンケート」においても、本を読むのが好きになった理由として、「家に本があったから」「小さいころ家族に本を読んでもらったから」が多い回答となっています。家族に絵本を読んでもらうなど、家族一緒に本に親しむという環境があれば、子どもにとって本のある生活が習慣化されます。家庭での本との出会いは、かけがえのない体験として、子どもは豊かな表現力や想像力を養い、言葉を学んでいきます。

家庭における読書活動に関しては、多様な子どもたちや、多様な家庭の状況があることに配慮し、社会全体でその読書活動を支えていくよう、地域、保育所・幼稚園・認定こども園、学校、図書館で連携・協力し、施策の実施に取組んでいきます。

② 地域での読書環境の整備

地域には、子どもの読書活動を支える様々な施設があります。市民センター多目的棟図書室や男女平等推進センター図書情報ステーション、くるるん図書コーナーなどの図書施設、学童保育所や校区コミュニティセンター、地域子育て支援センター（注 26）や児童センターなど、地域の人々と触れ合うことができる身近な施設が、本とも出会える場であることは、子どもたちが読書習慣を形成していく上でとても重要です。今後も地域を中心にして進めてきた取組を支援し、地域での子どもの読書環境の整備に取組んでいきます。

(2) 保育所・幼稚園・認定こども園

乳幼児期から本に親しむことが、就学以降の読書習慣に大きな影響を及ぼします。保育所・幼稚園・認定こども園は、子どもの身近に絵本のある環境を整備するとともに、子どもへの読み聞かせ等を通して、絵本の楽しさを伝えるための積極的な取組みが必要です。

そのため、子どもと保護者双方に向けて、絵本を楽しみ、絵本に親しむ機会の充実

に努めます。具体的には、図書館との連携を図りながら、読み聞かせを行う保育士等への学習会や、子どもが興味や関心をもって読書に親しめる取り組みの推進、保護者学習会や懇談会などを通して、保護者に絵本の大切さを伝えるなどの働きかけに取組みます。

(3) 学校

① 学校と学校図書館の読書環境の整備

「子どもの読書に関するアンケート」の中の質問項目「本を読むのが好きですか」の回答によると、好きになった理由の一つに「学校の読書の時間で本を読むようになってから」が挙げられます。このことから、児童生徒にとって学校での読書時間が、本のおもしろさや読書の楽しみを実感するきっかけとなっていると捉えています。そのため、「朝読」や「すきまの時間の読書」等の読書時間を含めた推進活動を通して、読書習慣の定着・促進を図っていきます。

読書環境の整備については、文部科学省が定める第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」(注27)及び「学校図書館ガイドライン」(注28)を指針とし、児童生徒の興味・関心等に応じて、自発的・主体的に読書や学習を行ったり、読書等を介して創造的な活動を行ったりすることができるよう充実を図ります。

児童生徒が落ち着いて読書を行うことができる、安らぎのある環境や知的好奇心を醸成する学びの場としての環境を整え、「読書センター」「学習センター」「情報センター」の3つの機能を柱に学校教育における重要な役割を果たしてまいります。

② 学校図書館と市立図書館との連携

教育課程の展開に寄与し、児童生徒の健全な教養を育成することが目的の学校図書館においては、自発的・主体的な読書活動の推進及び、確かな学力を育むことが重要です。そのため、適宜、市立図書館の「特別貸出」、「団体貸出」等を利用することにより、社会資源の有効活用をとおした読書活動・学習活動の充実を図ります。

また、「市立図書館・学校図書館合同研修会」、「各市立図書館・関係学校情報交換会」等の交流の場を通して、更なる学校図書館活動の充実を図ります。

(4) 図書館

① 読書環境と資料の整備

図書館は、子どもたちが様々な本に出会える場所として、居心地の良い空間づくりを進め、様々な目的で来館してもらえるよう読書環境の整備に取組みます。また、子どもの個々の発達段階や状況に応じて紙書籍・電子書籍を柔軟に選択できるように、幅広い資料を収集し提供します。

学校や学童保育所、子ども関連施設などに対しては、団体貸出や特別貸出、図書の再活用など資料の支援を行います。

② 子どもの読書活動の推進

子どもが、その生涯にわたって読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を形成するために、図書館では、年齢に応じた切れ目のない読書活動の支援を行っていきます。

乳幼児に向けては、ブックスタートに始まり、定例のおはなし会や、赤ちゃん向けなど年齢別のおはなし会、季節ごとのおはなし会などにより、絵本やおはなしの楽しさを伝えていきます。

小学生に向けては、おはなし会に加え、ブックトーク、子ども同士で本を薦め合う取組みなど、中高生等に向けては、読書を通して交流できる事業の実施や気軽に立ち寄れる居場所づくり、学習の場としての提供など、それぞれの発達段階の中で、心に残る本と出会えるよう支援します。

また、子どもが主体的に参加する読書活動の事例などを研究していくとともに、子どもの意見聴取の機会を設けることに努め、子どもの視点に立った読書活動を推進します。

保護者や子どもの読書に関わる大人に向けては、児童文学講演会や子どもの本に関する情報交換事業などを実施し、子どもの読書活動への理解を深めるきっかけづくりを行います。

子どもの読書活動の啓発としては、「子ども読書の日」（4月23日）「子どもの読書週間」（4月23日～5月12日）にポスターを掲示し、イベントや資料展示を行います。この他にもホームページやSNSなどを活用することで、子どもの読書推進に関する情報を広報啓発し、広く市民への子どもの読書活動の意義をアピールします。

③ デジタル社会に対応した取組

電子図書館サービスを開始し、児童生徒用の1人1台端末の子どもポータルサイトからも利用できるよう整備を行いましたが、まだなじめていない状況が伺えます。そのため、電子図書館サービスをはじめ、図書館ホームページからの蔵書検索や予約等のwebサービスなど、一層の広報・周知に努め、子どもたちの利用につながるよう取組みます。また、子ども自身がインターネット上の情報の真偽を考え、正しく読み取り、適切に活用する力を育むことができるよう支援します。

④ 多様な子どもたちへの読書活動の支援

令和元年6月に読書バリアフリー法が施行され、子どもの読書活動の推進においても、障害の有無にかかわらず読書を通じて文字・活字文化の恩恵を受けることができる環境の整備が求められています。

障害のある子どもだけでなく、日本語を母語としない子ども、不登校状態にある子どもなど、多様な子どもたちの読書機会を確保するために学校や関係部局と連携し、できることから取組を進めています。

⑤ ボランティアとの連携と人材の育成

図書館で活動するボランティアの養成講座やスキルアップ研修等の実施、関連情報や活動場所の提供など、ボランティア活動の活性化を促す働きかけに取組みます。

また、ボランティアが減少傾向にあるため、多様な市民が読書活動の推進に参加できるように、他自治体の図書館ボランティアの活動状況などを参考に研究していきます。

⑥ 関係部局・施設との連携

教育部と連携し、市立図書館司書と学校司書との合同研修会や情報交換会、学校教育課との定例会議を実施することで、子どもの読書に関する情報を共有し、子どもの読書活動を推進していきます。また、子ども未来部と連携し、ブックスタートの参加促進、参加できない家庭への支援の検討を進めます。さらに、石橋文化センターや児童センターなど関連施設と連携して、子どもと保護者が本に親しむきっかけとなるような取組を行い、子どもの読書環境のより一層の向上を図ります。

⑦ 司書の人材育成

図書館や学校図書館の司書は、図書資料の選択・収集・提供、読み聞かせなどの企画・実施、子どもの読書に関する保護者の相談への対応等、幅広い知識や専門性、技術や経験が求められます。

引き続き、司書研修の実施、セミナー等への積極的な参加を促し、専門職としての技術や資質の向上に取組みます。

3 効果的な計画推進のために

(1) ネットワーク

計画の具体的施策の実施は、家庭・地域、保育所・幼稚園・認定こども園、学校、図書館などそれぞれの場で行われます。大切なことは、これらの活動をつなぎ、久留米市の子どもの読書に関する総合的取組として実施していくことです。そのために、図書館が中心となり、施策が着実に実行されるよう進捗状況を管理とともに、相互の情報交換や連携支援を行い、子どもの読書に関するネットワークづくりを進めます。

(2) 広域的な行政機関との連携

「福岡県公共図書館等協議会」「北筑後地区子どもの読書活動推進連絡会議」「久留米・鳥栖・小郡・基山三市一町図書館協力協議会」等を通じて、管内の他市町村と子どもの読書活動の推進状況や事業内容の情報交換等を行います。

(3) ボランティアとの協働による取組の推進

子どもの読書活動推進のためには、図書館司書、学校における司書教諭や学校司書など専門的職員の活動とともに、本との出会いの機会をつくる上で、ボランティアとの協働による取組は欠かせません。

多くのボランティアが、地域、保育所・幼稚園・認定こども園、学校、図書館などで様々な活動を行っています。図書館に関わる専門的職員と子どもの読書活動に関わるボランティアの連携・協力関係の構築に努め、協働による効果的な事業の実施に取り組みます。

(4) 第5次計画の周知と子どもの意見の反映

子どもの読書活動の取組を進めていく上で、子どもの読書活動の意義や重要性に対する市民一人ひとりの理解と関心が欠かせません。引き続き、家庭や地域に対し、また、それぞれの機関や団体で、子どもの読書活動についての周知を行います。

令和5年4月1日に「こども基本法」が施行されました。子どもの最善の利益を実現するため、子どもの意見を子ども政策に反映させることが求められています。そのため、子どもの権利を大切にする取組となるよう、子どもから意見を聞きながら施策を進めていきます。

第4章 施策表

1 家庭・地域			
No.	項目	内 容	担当・所管
1	ブックスタート	○子育て支援及び、乳児期から本(絵本)に親しむ事業として市内9力所で実施 ○会場での育児相談対応や、新生児訪問事業でのブックスタート案内の実施 ○ボランティアの養成、スキルアップ研修実施	中央図書館 こども子育てサポートセンター
2	家読の推進	○家読の推進のために、必要な情報の提供、ブックリストの作成	中央図書館
3	すくすく子育て委員会	○すくすく子育て委員会による、小学校区での読書活動及び乳幼児期の子どもに応じた内容の充実	こども子育てサポートセンター
4	ボランティア活動 各種助成の情報提供	○子どもの読書に取り組むボランティア団体に対し、助成金情報の提供などの支援	協働推進課 関係各課
5	校区コミュニティセンター	○図書館の団体貸出等の制度活用による資料整備 ○人権啓発図書(絵本)の配布や土曜塾での読書時間設定等による読書活動の支援	生涯学習推進課 中央図書館 地域コミュニティ課
6	学童保育所	○図書館の団体貸出などの制度活用によるさらなる図書充実及び読書活動支援 ○除籍図書の配布再活用による図書充実及び読書活動支援	中央図書館 子ども政策課
7	市民センター 多目的棟図書室	○読み聞かせの実施 ○読書活動支援	市民センター
8	子育て交流プラザ くるるん	○絵本スペース設置、貸出 ○読み聞かせ会開催	こども子育てサポートセンター
9	男女平等推進センター 図書情報ステーション	○幼少期からジェンダー平等に関する情報や知識に触れる図書の充実 ○子どもと一緒に読んでもらいたい性やDV等に関する情報を提供 ○絵本スペース設置、貸出	男女平等推進センター
10	地域子育て支援センター	○絵本スペース設置 ○乳幼児と保護者を対象に絵本の紹介と読み聞かせ実施 ○絵本の講座開催	こども子育てサポートセンター
11	隣保館	○図書館による団体貸出・移動図書館巡回・除籍再活用図書等を利用した図書整備及び読書活動支援	中央図書館 関係各課
12	児童センター	○絵本スペース設置 ○乳幼児と保護者を対象に読み聞かせ実施	こども子育てサポートセンター

2 保育所・幼稚園・認定こども園			
No.	項目	内 容	担当・所管
13	読み聞かせ実施	○研修会へ参加し、具体的な読書活動の技術を身に付けて読み聞かせ実施	子ども保育課
14	読書環境の充実	○日常保育等において、子どもが興味、関心をもって読書に親しめる環境づくりの推進	
15	保護者への働きかけ	○絵本の貸出、読書活動推進のための情報提供、保護者向け学習会等の実施	

3 学校

No.	項目	内 容	担当・所管
16	読書活動の推進	○読書習慣の定着・促進 ○情報活用能力育成のための計画的な図書館利活用の促進	学校教育課 南筑高校 久留米商業高校
17	読書ボランティア活動の推進	○地域・保護者ボランティアや保護者との連携による読書活動の推進	久留米商業高校
18	司書教諭	○法に基づく配置確保、及び11学級以下の学校への配置推進 ○職務への理解促進	教職員課 学校教育課
19	学校司書	○司書資格を有する学校司書の配置推進 ○研修会等の充実及び個に応じた実務支援の充実	南筑高校 久留米商業高校
20	学校図書館の整備	○多様な児童生徒の各発達段階を踏まえた組織的・計画的な図書の選定 ○適切な図書の更新及び利用のしやすさや魅力ある環境面を含めた整備の促進	学校施設課 学校教育課 南筑高校 久留米商業高校

4 図書館

No.	項目	内 容	担当・所管
21	【新規】デジタル環境の整備推進	○電子図書館サービスの充実と広報の推進 ○デジタル情報源の活用支援	
22	図書館環境の整備充実	○各施設内の児童サービスに係る環境整備	
23	児童図書整備	○新刊の購入、また長く読み継がれる本やよく読まれる本の買替えを計画的に実施	
24	再活用図書の配布	○学童保育所、学校等への資料整備支援	
25	おすすめ本貸出セットの整備	○司書おすすめ本セット「本のたからばこ」を学校・学童保育所等、団体へ貸出 ○司書おすすめ本セットを“本の福袋”として個人へ貸出	
26	おはなし会などの開催	○定期的なおはなし会、クリスマス会など季節の催しを実施 ○乳幼児向け企画の実施	中央図書館
27	資料展示	○季節や時事に関する資料展示による資料利用の活性化	
28	講演会開催	○絵本・児童文学など子どもの読書活動に関する講演会の開催	
29	子どもの本に関する情報交換事業	○大人を対象に、子どもへの絵本の読み方与え方や新刊情報などを共有する会の実施	
30	ブックトーク	○図書館および学校・学童などでのブックトークの実施	
31	職員及び読書ボランティア派遣	○学校や子ども関連施設へ、利用案内・読書案内を実施するために職員（司書）やボランティアを派遣	
32	【新規】中高生等の読書啓発事業	○中高生等が本を通して交流を深めるイベントや事業の実施	

33	【新規】 子どもによる読書 情報発信事業	○ビブリオトークやおすすめ本のポップ展示など、子ども自身が選んだ本について情報発信する事業の実施	
34	団体貸出	○学校・学童保育所・保育所・など地域の読書活動支援	
35	特別貸出	○学校の授業等での読書活動支援	
36	新1年生登録	○未登録の新小学1年生を対象に学校を通じての利用登録実施	
37	調べもの支援	○学校の課題などを解決するための資料や情報、子ども用パスファインダーの提供	
38	多様な子どもたち に向けた図書館 サービスの推進	○バリアフリー図書の充実と広報推進 ○特別支援学校等への貸出支援 ○読書バリアフリー啓発事業の実施 ○障害の有無に関わらず子どもたちが楽しめるおはなし会などの実施 ○病院内学級への読書支援	
39	司書配置・人材育成	○司書有資格者の計画的な配置の推進 ○継続的な研修の実施	
40	ボランティアの 養成・支援	○読み聞かせ・ブックスタートなどの図書館 ボランティアの養成・研修の継続的実施 ○朝読など学校ボランティアの研修の実施	
41	市立図書館・学校 図書館合同研修会・情報交換会	○市立図書館・学校図書館の司書を対象とした研修会・情報交換会の実施	
42	図書館の仕事体験	○1日図書館員や職場体験など、児童・生徒の図書館の仕事体験を通して読書活動の広がりを目指す	
43	図書館見学	○学校等、団体に対して、館内ツアーや利用方法などを案内する図書館見学を実施	
44	図書館Webサービスの利用促進	○図書館HP等を活用し、子どもの読書に関する情報の発信やログインサービスの利用促進を実施	
45	読書相談カウンタ一運営	○子どもや保護者等からの読書相談支援	
46	関連施設との連携事業	○石橋文化センター等の関連施設と連携したイベントや展示、広報支援等の実施	

5 ネットワーク

No.	項目	内 容	担当・所管
47	進行管理	○施策の適切な進行管理 ○計画の周知と子どもの意見の反映	中央図書館
48	連携協力	○市、関係機関などとの情報交換、連携支援	

本文用語注記

(注 1) ブックスタート

すべての赤ちゃんと保護者にメッセージを伝えながら絵本を手渡す運動として、平成 4 年に英国で始められた事業。日本では、平成 12 年の「子ども読書年」に紹介された。久留米市では、子育て支援事業として平成 14 年スタート。

(注 2) 「家読」

「家読（うちどく）」とは「家庭読書」の略語で、「家族ふれあい読書」を意味する。家族で本を読んでコミュニケーションし「家族の絆づくり」をすることを目的としている。「家読」のやり方は、家族で本を読んで読んだ本について話すこと。

(注 3) 団体貸出

地域における読書活動を行う団体（市内の各種機関など）に対して資料の提供及び活動支援を行う。

(注 4) 第五次「子ども読書活動の推進に関する基本的な計画」

子どもの読書活動の推進に関する法律に基づき、策定された。おおむね令和5～令和9年度にわたる子どもの読書活動推進に関する基本方針と具体的方策。

https://www.mext.go.jp/content/20230327mxt-chisui01-100316_01.pdf

(注 5) 「福岡県子ども読書推進計画」

子どもの読書活動の推進を福岡県における教育行政施策として明確に位置付け、基本理念や施策推進のための基本方針を示したもの。

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/209258.pdf>

(注 6) 「久留米市新総合計画・第5次基本計画」

「久留米市新総合計画基本構想」において久留米市が目指す都市の姿の実現に向けて、中期的に取り組む基本的な施策を体系的に示したもの。久留米市の都市づくりの基盤となる計画。

(注 7) 「久留米市教育振興プラン」

久留米市における学校教育を中心とした教育行政についての中長期的事業プラン。『ともに未来を創る「くるめっ子」の育成』を目標とし、その具体的推進を目指す。

<https://www.city.kurume.fukuoka.jp/1060manabi/2020kyouiku/3080kyouikukaikaku/2nd-plan.html>

(注 8) 学校図書館法の改正

学校図書館の利用促進のため「学校司書」を置くよう努めることとした。また、国及び地方公共団体は、学校司書の資質の向上を図るために、研修の実施その他の必要な措置を講ずるよう努めなければならないこととした。

(注 9) 学習指導要領の改訂

学校図書館などを計画的に利用し、その機能の活用を図り、児童の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実することなどが記載された。

(注 10) 読書バリアフリー法

視覚障害者等の読書環境の整備を総合的かつ計画的に推進する法律。令和元年 6 月に公布・施行。

(注 11) 子ども基本法

子ども施策を社会全体で総合的かつ強力に推進していくための包括的な基本法として、令和 4 年 6 月に公布、令和 5 年 4 月に施行。

(注 12) 校区子育てサロン

各校区子育てサロンでの主任児童委員・ボランティア・子育て支援センター職員等による読み聞かせを定期的に実施。

(注 13) 全校一斉読書

学校等で朝の授業が始まる前などに、全校で一斉に本を読む活動。

(注 14) 学校司書

学校司書は、専ら学校図書館の職務に従事する者。学校図書館法で法制化され、学校図書館への配置が「努力義務」として地方自治体などに課せられている。ただし、司書資格などの要件については規定がない。

(注 15) 司書教諭

司書教諭は、教諭として採用され司書教諭講習を終了した者で、学校図書館資料の選択・収集・提供や子どもの読書活動に対する指導など、学校図書館の運営・活用について中心的な役割を担う。学級数が合計 12 学級以上の学校には、司書教諭を置かなければならない。

(注 16) くるめ広域電子図書館

24 時間いつでもスマートフォンやパソコンから電子書籍を借りて読むことができるサービス。令和 6 年 3 月 21 日より久留米市、大川市、小郡市、うきは市、大刀洗町、大木町で構成する「久留米広域連携中枢都市圏」で運用開始。

(注 17) ブックトーク

ひとつのテーマにそって選んだ数冊の本を順序よく紹介することで、読書への動機付けを図ること。

(注 18) ビブリオバトル・ビブリオトーク

発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まり、順番に本を紹介する。それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを行う。すべての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか?」を基準とした投票を参加者全員で行い、最多票を集めたものをビブリオバトルでは「チャンプ本」とする。

(注 19) 特別貸出

学校の授業等を支援するために貸出期間や貸出冊数を超えて特別に貸し出しを行う制度。

(注 20) パスファインダー

あるテーマについて調べるときに役立つ基本的な図書資料、情報源、その探し方などを紹介した手引書。

(注 21) 病院内学級

久留米大学病院（篠山小学校、城南中学校）、のぞえの丘病院（上津小学校、青陵中学校）

(注 22) 再活用図書

図書館で除籍した書籍等を関係団体等で再活用すること。

(注 23) L L ブック

障害のある人や母語を異にする人など読むことが苦手な人のために、読みやすいように工夫して作られた本のこと。やさしくわかりやすく書かれた文章、絵記号、イラスト、写真などを使って作られている。

(注 24) 本のたからばこ

読書や読み聞かせ等に役立つ資料を、学年別やテーマ別にセットにして、久留米市内の学童施設や学校へ貸出。

(注 25) ヤングアダルト図書

概ね 13 歳から 19 歳（中高生等の世代）向けの資料。読みものだけでなく、調べもの、学力向上、進路決定をサポートする本など、日常生活や学校生活の中でもつ様々な興味・関心に応えられる資料。

(注 26) 地域子育て支援センター

市内に 9 カ所あり、保育士を配置し子育てサロンや子育て相談、子育て支援情報の提供を行っている。絵本スペースの設置も進み、絵本の読み聞かせも行われている。

(注 27) 「学校図書館図書整備等 5 か年計画」

公立小中学校等の学校図書館における、学校図書館図書標準の達成、計画的な図書の更新、新聞の複数紙配備、学校司書の配置拡充が図られることを目的としており、本計画に基づいた地方財政措置が講じられている。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/dokusho/link/mext_01751.html

(注 28) 学校図書館ガイドライン

学校図書館をめぐる現状と課題を踏まえ、さらなる学校図書館の整備充実を図るため、教育委員会や学校等にとって参考となる学校図書館の運営上の重要な事項について、望ましい在り方を示したガイドライン。

資料編

- 1 「子どもの読書活動の推進に関する法律」**
- 2 久留米市立図書館協議会委員名簿**
- 3 第5次久留米市子どもの読書活動推進計画調整会議委員名簿**
- 4 第5次久留米市子どもの読書活動推進計画ワーキンググループ関係部課名**
- 5 第5次久留米市子どもの読書活動推進計画審議会等開催経過**
- 6 子どもの読書活動に関するアンケート調査結果**

1 「子どもの読書活動の推進に関する法律」 (平成13年12月12日 法律第154号)

(目的)

第1条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第2条 子ども（おむね18歳以下の者をいう。以下同じ）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第3条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第4条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第5条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第6条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第7条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第8条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第9条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第10条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、4月23日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日の趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第11条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附則

この法律は、公布の日から施行する。

2 久留米市立図書館協議会委員名簿

区分	氏 名	所属等
学校教育関係	友野 優里	久留米市私立幼稚園協会
	池田 香保里	久留米市小学校校長会
	江頭 信人	久留米市中学校校長会
	井上 淳郎	筑後地区公立高等学校等校長協会
社会教育関係	永松 千枝	久留米男女平等推進ネットワーク
	鳥越 忠廣	久留米市校区まちづくり連絡協議会
	稻益 英子	久留米市社会教育委員
家庭教育関係	高山 きよみ	図書館ボランティア 小さいがらがらどん
	富田 春美	図書館ボランティア たんぽぽ
	菊地 安美	音訳ボランティア せせらぎ
	塚本 高士	久留米市保育協会
学識経験者	◎藤林 詠子	久留米市議会議員
	永利 和則	福岡女子短期大学
	百鳥 直樹	久留米大学
	太郎丸 仁	福岡県立図書館
	○梅野 智美	九州大谷短期大学

◎会長 ○副会長

3 第5次久留米市子どもの読書活動推進計画調整会議委員名簿

部 局	課	氏名
市民文化部	生涯学習推進課長	山口 嘉代
	中央図書館長	井手 尊利
子ども未来部	子ども政策課長	梶島 真弥
	子ども保育課長	中村 健一郎
	こども子育てサポートセンター所長	乙丸 豊子
教育部	学校教育課長	田中 浩之

4 第5次久留米市子どもの読書活動推進計画ワーキンググループ関係部課名

部 局	課	担当人数
市民文化部	総務	1名
	生涯学習推進課	1名
	中央図書館（事務局）	3名
子ども未来部	子ども政策課	1名
	子ども保育課	1名
	こども子育てサポートセンター	1名
教 育 部	学校教育課	2名

5 第5次久留米市子どもの読書活動推進計画審議会等開催経過

期 日	事 項	内 容
(令和7年)		
4月25日	調整会議（第1回）	計画の概要・スケジュール説明
5月16日	ワーキンググループ会議（第1回）	計画の概要・スケジュール説明
6月	子どもの読書に関するアンケート実施・集約	
7月31日	ワーキンググループ会議（第2回）	アンケート結果報告・第4次計画取組と成果
8月 1日	調整会議（第2回）	アンケート結果報告・第4次計画取組と成果
8月12日	久留米市立図書館協議会（第1回）	計画の概要・スケジュール説明 アンケート結果報告
10月15日	ワーキンググループ会議（第3回）	第4次計画総括・第5次計画素案検討
11月25日	久留米市立図書館協議会（第2回）	第5次計画素案審議・パブコメ実施説明
12月11日	教育民生常任委員会	第5次計画素案説明・パブコメ実施説明
12月25日	教育委員会	第5次計画素案説明・パブコメ実施説明
(令和8年)		
1月6日～ 2月4日	パブリックコメント募集	
2月	ワーキンググループ会議（第4回） 調整会議（第3回） 久留米市立図書館協議会（第3回）	パブコメ集約・回答案の検討 パブコメ結果報告・原案審議 パブコメ結果報告・原案審議
3月	教育民生常任委員会 教育委員会	パブコメを踏まえた原案説明 パブコメを踏まえた原案説明

パブリックコメントでいただいたご意見やご意見に対する考え方は、久留米市ホームページに掲載しています。

6 子どもの読書活動に関するアンケート調査結果

1. 調査の概要

- (1) アンケート内容・・・家庭や学校等での読書活動の現状
(2) 実施時期・・・・・・令和7年6月2日（月）～20日（金）
(3) 対象者

①児童・生徒

- ・市立小学校4～6年生 7,848人（回答4,954人 61.3%）
- ・市立中学校全学年、特別支援学校中学部 7,475人（回答5,682人 76.0%）
- ・市立高校全学年、特別支援学校高等部 1,559人（回答1,228人 78.8%）

②保護者

- ・市立小学校1～3年生、特別支援学校小学部 7,405人（回答3,394人 45.8%）

2. 主な結果

①児童・生徒

問2 あなたは本を読むのが好きですか。

	小学生	中学生	高校生
好き	42.9%	28.8%	26.1%
どちらかというと好き	40.4%	40.7%	44.5%
どちらかというと嫌い	11.8%	20.8%	22.1%
嫌い	4.9%	9.7%	7.4%

問3 あなたはなぜ本を読むのが好きになったのですか。（複数回答）

	小学生	中学生	高校生
小さい頃家族に読んでもらったから	34.5%	30.6%	24.2%
学校の「読書の時間」で本を読むようになってから	36.7%	37.4%	45.5%
家に本があったから	46.8%	51.2%	33.9%

問4 あなたはなぜ本を読むのが嫌いになったのですか。（複数回答）

	小学生	中学生	高校生
読書感想文や感想画を書くのが嫌だった	30.5%	40.9%	40.3%
本を読むのは難しい	24.2%	30.6%	34.3%
本を読むのは面白くない	48.9%	50.1%	41.7%

問5 あなたは5月1カ月の間に本や電子図書を何冊ぐらい読みましたか。

	小学生	中学生	高校生
ぜんぜん読まない。	11.5%	27.5%	18.5%
1～2冊	14.1%	33.4%	65.9%
3～5冊	23.5%	21.6%	12.1%
6～9冊	15.4%	6.6%	1.3%
10冊以上	35.5%	10.9%	2.2%

問6 あなたは読む本をどのようにして用意していますか。（複数回答）

	小学生	中学生	高校生
家にある本を読む	59.3%	57.4%	53.6%
学校図書館や学級文庫から借りる	69.6%	41.8%	14.7%
家族に買ってもらうか自分で買う	33.6%	41.2%	55.1%

問7 あなたは本を読むことについてどう思いますか。(複数回答)

	小学生	中学生	高校生
楽しい	62. 9%	49. 2%	47. 9%
考える力がつく	46. 8%	43. 8%	36. 7%
物知りになる・知識が増える	39. 1%	52. 8%	48. 4%

問8 あなたはどうすれば今までより多くの本が読めるようになると思いますか。(複数回答)

	小学生	中学生	高校生
テレビ・ゲーム・動画視聴の時間を減らす	45. 9%	49. 4%	59. 4%
学校の図書館に読みたい本がたくさんある	51. 0%	51. 7%	39. 7%
家族と一緒に本を読む	20. 7%	11. 6%	5. 4%

問9 あなたは1日どのくらいテレビを見たり、ゲームや動画視聴しますか。

	小学生 (1~3年生)	小学生 (4~6年生)	中学生	高校生
1時間未満	15. 6%	16. 1%	8. 0%	5. 1%
1時間以上2時間未満	44. 3%	29. 7%	27. 6%	24. 2%
2時間以上3時間未満	27. 2%	24. 4%	27. 8%	32. 3%
3時間以上	12. 0%	27. 9%	35. 7%	37. 8%
見ない・しない	0. 9%	1. 9%	0. 9%	0. 6%

問10 あなたはスマホやタブレットを使って電子書籍を読んだことがありますか。

	小学生 (1~3年生)	小学生 (4~6年生)	中学生	高校生
よく読む	1. 6%	9. 3%	15. 1%	17. 1%
たまに読む	11. 2%	34. 2%	39. 0%	42. 8%
読んだことがない	87. 2%	56. 5%	45. 9%	40. 1%

②保護者

問1 あなたは子どもが読書をすることは大切だと思いますか。

思う	99. 2%
思わない	0. 3%
その他	0. 5%

問2 あなたは自分の子どもに読み聞かせ（本を読んであげた）の経験はありますか。

よくある	41. 5%
時々ある	49. 3%
ほとんどない	8. 9%
ない	0. 3%

問3 読み聞かせを始めたきっかけは何ですか。

友人・知人にすすめられて	9. 6%
子どもにせがまれて	47. 0%
講演会等を聞いて	7. 5%
保育園・幼稚園等ですすめられて	23. 3%
その他	12. 6%

問4 読み聞かせをすることで、お子さんはどのように変化しましたか。(複数回答)

絵や文字に興味を持つようになった	57. 6%
本が好きになった	51. 2%
読んでとせがむ	45. 4%

問5 読み聞かせの本は主にどうやって用意していますか。

市立図書館等で借りる	49. 6%
子どもが学校の図書館から借りてくる	34. 5%
購入する	71. 4%

問6 あなた自身は本を読むことは好きですか。

好き	33. 3%
どちらかというと好き	42. 1%
嫌い	2. 1%
どちらかというと嫌い	22. 5%

問7 あなたはなぜ本を読むことが好きになったのか。(複数回答)

家に本があったから	40. 4%
本屋や図書館に連れて行ってもらったから	39. 1%
家族に本を読んでもらったから	23. 4%

問8 あなたはなぜ本を読むことが嫌いになったのか。(複数回答)

読書感想文や感想画をかくのが嫌だった	46. 0%
本を読むのは難しいから	28. 3%
本を読むのは面白くない	17. 4%

問9 あなたはどうすれば子どもたちがもっと本を読むようになると思いますか。(複数回答)

子どもが小さい時から親が本の読み聞かせをする	62. 6%
保護者自身が本を楽しむ	61. 5%
家族で図書館や本屋に行く機会を増やす	59. 3%

問10 ブックスタートに参加しましたか。

参加した	75. 5%
参加しなかった	8. 4%
ブックスタートのことは知らない	15. 4%
その他	0. 7%

問11 あなたのお子さんは1日どのくらいテレビを見たり、ゲームや動画視聴しますか。

1時間未満	44. 3%
1時間以上 2時間未満	15. 6%
2時間以上 3時間未満	27. 2%
3時間以上	12. 0%
見ない・しない	0. 9%

問12 あなたのお子さんは電子書籍を読んだことがありますか。

よく読む	1. 6%
たまに読む	11. 2%
読んだことがない	87. 2%

子どもの読書アンケート比較(小学校4・5・6年生)

番号	質問内容	調査年度		R7年度調査		R1年度調査		H28年度調査		H23年度調査		H18年度調査	
		調査対象数		7,848		613		606		580		600	
		提出数/回収率		提出数	回収率	提出数	回収率	提出数	回収率	提出数	回収率	提出数	回収率
		質問項目		4,954	63.1%	592	96.6%	597	98.5%	574	99.0%	586	97.7%
問2	あなたは本を読むのが好きですか	1. 好き		2,127	42.9%	289	49.0%	333	56.0%	259	45.1%	332	57.0%
		2. どちらかというと好き		2,001	40.4%	214	36.3%	195	32.8%	252	43.9%	190	32.6%
		3. どちらかというと嫌い		585	11.8%	58	9.8%	43	7.2%	37	6.4%	40	7.6%
		4. 嫌い		241	4.9%	29	4.9%	24	4.0%	26	4.5%	17	2.9%
問3	あなたはなぜ本を読むことが好きになったんですか 問2で「好き、どちらかといふと好き」と答えた人	1. 小さい頃家族に本を読んでもらったから		1,423	34.5%	165	32.8%	188	35.6%	183	35.8%	202	38.7%
		2. 小さい頃本屋や図書館に連れて行ってもらったから		1,118	27.1%	134	26.6%	146	27.7%	150	29.4%	156	29.9%
		3. 家族や先生に、本を読むようにすすめられたから		470	11.4%	56	11.1%	62	11.7%	44	8.6%	62	11.9%
		4. 学校の「読書の時間」で本を読むようになってから		1,513	36.7%	182	36.2%	244	46.2%	190	37.2%	253	48.5%
		5. 保育園・幼稚園・こども園の先生に読んでもらったから		1,279	31.0%	118	23.5%	144	27.3%	135	26.4%	136	26.1%
		6. 本をプレゼントされたから		701	17.0%	95	18.9%	102	19.3%	102	20.0%	88	16.9%
		7. 本が好きな友達がいたから		442	10.7%	41	8.2%	60	11.4%	38	7.4%	48	9.2%
		8. 家に本があったから		1,933	46.8%	172	34.2%	199	37.7%	184	36.0%	193	37.0%
		9. その他		714	17.3%	78	15.5%	89	16.9%	88	17.2%	81	15.5%
問4	あなたは、なぜ本を読むことが嫌いになったんですか 問2で「どちらかといふと嫌い」と答えた人	1. 無理やり本を読まされた		27	3.3%	5	5.7%	4	6.0%	1	1.6%	7	11.5%
		2. 読書感想文や感想画をかくのが嫌だった		252	30.5%	39	44.8%	26	38.8%	36	57.1%	34	55.7%
		3. 本を読むのは難しいから		200	24.2%	24	27.6%	13	19.4%	8	12.7%	13	21.3%
		4. 本を読むのは面白くない		404	48.9%	31	35.6%	29	43.3%	25	39.7%	23	37.7%
		5. 自分のまわりに本がない		53	6.4%	4	4.6%	5	7.5%	2	3.2%	4	6.6%
		6. その他		127	15.4%	12	13.8%	11	16.4%	9	14.3%	9	14.8%
問5	あなたは、1ヶ月にどのくらい本を読みますか	1. ぜんぜん読まない		569	11.5%	35	6.0%	20	3.4%	17	3.0%	18	3.1%
		2. 1~2冊		701	14.2%	79	13.6%	71	12.0%	99	17.5%	93	16.2%
		3. 3~5冊		1,162	23.5%	149	25.6%	127	21.5%	139	24.6%	133	23.2%
		4. 6~9冊		762	15.4%	121	20.8%	120	20.3%	138	24.4%	121	21.1%
		5. 10冊以上		1,760	35.5%	197	33.9%	254	42.9%	173	30.6%	208	36.3%
問6	あなたは、読む本をどのようにして用意していますか (複数回答)	1. 家にある本を読む		2,939	59.3%	332	56.1%	347	58.1%	343	59.8%	342	58.4%
		2. 学校の図書館や学級文庫から借りる		3,448	69.6%	407	68.8%	440	73.7%	417	72.6%	461	78.7%
		3. 市の図書館、移動図書館などで借りる		967	19.5%	189	31.9%	241	40.4%	160	27.9%	209	35.7%
		4. 家族に買ってもらひ自分で買う		1,666	33.6%	250	42.2%	246	41.2%	243	42.3%	255	43.5%
		5. 友達から借りる		203	4.1%	47	7.9%	48	8.0%	36	6.3%	42	7.2%
		6. 読まない		350	7.1%	26	4.4%	19	3.2%	22	3.8%	12	2.0%
		7. その他		111	2.2%	15	2.5%	7	1.2%	10	1.7%	9	1.5%
問7	あなたは、本を読むことについてどう思いますか (複数回答)	1. 楽しい		3,115	62.9%	398	67.2%	433	72.5%	395	68.8%	461	78.7%
		2. 感動する		1,066	21.5%	118	19.9%	149	25.0%	125	21.8%	158	27.0%
		3. 考える力がつく		2,319	46.8%	228	38.5%	275	46.1%	219	38.2%	251	42.8%
		4. 物知りになる		1,935	39.1%	186	31.4%	196	32.8%	168	29.3%	195	33.3%
		5. 家族や友だちとの話題が増える		1,322	26.7%	145	24.5%	197	33.0%	157	27.4%	175	29.9%
		6. めんどうだ		350	7.1%	30	5.1%	22	3.7%	23	4.0%	29	4.9%
		7. 読みたい本がまわりにない		288	5.8%	36	6.1%	28	4.7%	17	3.0%	15	2.6%
		8. 面白くない		306	6.2%	25	4.2%	24	4.0%	19	3.3%	18	3.1%
		9. その他		301	6.1%	37	6.3%	38	6.4%	38	6.6%	21	3.6%
問8	あなたは、どうすれば今までよりも多くの本が読めるようになりますか (複数回答)	1. テレビ、ゲーム、動画視聴の時間を減らす (R1年度までは、テレビやゲームやスマホ・インターネットの時間を減らす)		2,273	45.9%	216	36.5%	256	42.9%	249	43.4%	258	44.0%
		2. 学校の図書館に魅力ある本を増やす		2,529	51.0%	332	56.1%	308	51.6%	285	49.7%	314	53.6%
		3. 学校の図書館に本に詳しい先生(司書)がいる		582	11.7%	75	12.7%	94	15.7%	54	9.4%	92	15.7%
		4. 家族といっしょに本を読む		1,026	20.7%	82	13.9%	101	16.9%	90	15.7%	79	13.5%
		5. 家族に図書館に連れて行ってもらう		1,349	27.2%	202	34.1%	269	45.1%	203	35.4%	217	37.0%
		6. その他		310	6.3%	37	6.3%	38	6.4%	31	5.4%	24	4.1%
問9	あなたは、スマートフォンやインターネットは使っていますか (使う)と答えた人	1. 使う		-	-	443	75.2%						
		2. 使わない		-	-	146	24.8%						
問10	1日どのくらいテレビを見たり、ゲームや動画視聴しますか (R1年度までは、あなたは、スマートフォンやインターネットを1日にどのくらい使いますか)	1. 1時間未満		797	16.1%	163	36.6%						
		2. 1時間以上2時間未満		1,471	29.7%	140	31.5%						
		3. 2時間以上3時間未満		1,209	24.4%	60	13.5%						
		4. 3時間以上		1,382	27.9%	82	18.4%						
		5. 見ない・しない		95	1.9%	-	-						
問11	あなたは、電子書籍を読んだことがありますか	1. 読んだことある		2,147	43.3%	157	26.9%						
		2. 読んだことがない		2,807	56.7%	426	73.1%						

子どもの読書アンケート比較(中学生、特別支援学校中学部の生徒)

番号	質問内容	調査年度		R7年度調査		R1年度調査		H28年度調査		H23年度調査		H18年度調査	
		調査対象数		7,475		601		585		607		622	
		提出数	回収率	提出数	回収率	提出数	回収率	提出数	回収率	提出数	回収率	提出数	回収率
質問項目		5,682	76.0%	562	93.5%	565	96.6%	567	93.4%	592	95.2%		
問2	あなたは本を読むのが好きですか	1. 好き	1,635	28.8%	203	36.3%	201	35.8%	190	33.6%	165	27.9%	
		2. どちらかというと好き	2,313	40.7%	201	35.9%	211	37.6%	197	34.9%	244	41.2%	
		3. どちらかというと嫌い	1,184	20.8%	112	20.0%	105	18.7%	124	22.0%	136	23.0%	
		4. 嫌い	550	9.7%	44	7.9%	44	7.8%	54	9.6%	47	7.9%	
問3	あなたはなぜ本を読むことが好きになったんですか 問2で「好き・どちらかといふ・嫌い」と答えた人	1. 小さい頃家族に本を読んでもらったから	1,210	30.6%	117	29.0%	87	21.1%	108	27.9%	105	25.7%	
		2. 小さい頃本屋や図書館に連れて行ってもらつたから	1,205	30.5%	119	29.5%	104	25.2%	85	22.0%	88	21.5%	
		3. 家族や先生に、本を読むようにすすめられたから	558	14.1%	68	16.8%	42	10.2%	43	11.1%	57	13.9%	
		4. 学校の「読書の時間」で本を読むようになつてから	1,478	37.4%	140	34.7%	128	31.1%	134	34.6%	142	34.7%	
		5. 保育園・幼稚園・こども園の先生に読んでもらつたから	783	19.8%	63	15.6%	44	10.7%	39	10.1%	25	6.1%	
		6. 本をプレゼントされたから	616	15.6%	54	13.4%	37	9.0%	40	10.3%	32	7.8%	
		7. 本が好きな友だちがいたから	601	15.2%	58	14.4%	61	14.8%	55	14.2%	63	15.4%	
		8. 家に本があったから	2,021	51.2%	157	38.9%	155	37.6%	162	41.9%	173	42.3%	
		9. その他	642	16.3%	73	18.1%	64	15.5%	69	17.8%	87	21.3%	
問4	あなたは、なぜ本を読むことが嫌いになったんですか 問2で「どちらかといふ・嫌い」と答えた人	1. 無理やり本を読まされた	60	3.5%	3	1.9%	5	3.4%	7	3.9%	10	5.5%	
		2. 読書感想文や感想画をかくのが嫌だった	709	40.9%	68	43.6%	44	29.5%	77	43.3%	79	43.2%	
		3. 本を読むのは難しいから	530	30.6%	40	25.6%	36	24.2%	52	29.2%	56	30.6%	
		4. 本を読むのは面白くない	868	50.1%	71	45.5%	73	49.0%	70	39.3%	62	33.9%	
		5. 自分のまわりに本がない	208	12.0%	7	4.5%	11	7.4%	15	8.4%	16	8.7%	
		6. その他	176	10.1%	17	10.9%	26	17.4%	30	16.9%	27	14.8%	
問5	あなたは、1ヶ月にどのくらい本を読みますか	1. ぜんぜん読まない	1,563	27.5%	113	20.3%	113	20.2%	133	23.5%	157	26.5%	
		2. 1～2冊	1,901	33.5%	187	33.6%	212	37.9%	211	37.4%	253	42.7%	
		3. 3～5冊	1,225	21.6%	149	26.8%	146	26.1%	139	24.6%	119	20.1%	
		4. 6～9冊	376	6.6%	34	6.1%	48	8.6%	42	7.4%	31	5.2%	
		5. 10冊以上	617	10.9%	74	13.3%	40	7.2%	40	7.1%	19	3.2%	
問6	あなたは、読む本をどのようにして用意していますか (複数回答)	1. 家にある本を読む	3,261	57.4%	301	53.6%	264	46.7%	277	48.9%	265	44.8%	
		2. 学校の図書館や学級文庫から借りる	2,376	41.8%	241	42.9%	208	36.8%	189	33.3%	188	31.8%	
		3. 市の図書館・移動図書館などで借りる	653	11.5%	115	20.5%	107	18.9%	106	18.7%	115	19.4%	
		4. 家族に買ってもらひ自分で買う	2,342	41.2%	292	52.0%	308	54.5%	290	51.1%	292	49.3%	
		5. 友だちから借りる	425	7.5%	86	15.3%	83	14.7%	104	18.3%	111	18.8%	
		6. 読まない	878	15.5%	47	8.4%	66	11.7%	82	14.5%	90	15.2%	
		7. その他	113	2.0%	10	1.8%	10	1.8%	6	1.1%	10	1.7%	
問7	あなたは、本を読むことについてどう思いますか (複数回答)	1. 楽しい	2,793	49.2%	312	55.5%	286	50.6%	311	54.9%	306	51.7%	
		2. 感動する	1,442	25.4%	149	26.5%	102	18.1%	144	25.4%	164	27.7%	
		3. 考える力がつく	2,487	43.8%	238	42.3%	198	35.0%	173	30.5%	200	33.8%	
		4. 知識が増える	2,998	52.8%	272	48.4%	258	45.7%	180	31.7%	225	38.0%	
		5. 家族や友だとの話題が増える	1,057	18.6%	95	16.9%	93	16.5%	122	21.5%	94	15.9%	
		6. めんどうだ	822	14.5%	46	8.2%	51	9.0%	85	15.0%	93	15.7%	
		7. 読みたい本が周りにない	465	8.2%	29	5.2%	36	6.4%	47	8.3%	41	6.9%	
		8. 面白くない	654	11.5%	40	7.1%	32	5.7%	49	8.6%	50	8.4%	
		9. その他	168	3.0%	23	4.1%	23	4.1%	23	4.1%	25	4.4%	
問8	あなたは、どうすれば今までよりたくさんの方が読めるようになると思いますか (複数回答)	1. テレビ、ゲーム、動画視聴の時間を減らす(R1年度までは、テレビやゲームやスマホ・インターネットの時間を減らす)	2,809	49.4%	266	47.3%	285	50.4%	241	42.5%	233	39.4%	
		2. 学校の図書館に魅力ある本を増やす	2,938	51.7%	303	53.9%	226	40.0%	250	44.1%	273	46.1%	
		3. 学校の図書館に本に詳しい先生(司書)がいる	470	8.3%	41	7.3%	49	8.7%	40	7.1%	45	7.4%	
		4. 家族といっしょに本を読む	660	11.6%	46	8.2%	26	4.6%	32	5.6%	33	5.6%	
		5. その他	433	7.6%	40	7.1%	52	9.2%	76	13.4%	93	15.7%	
問9	あなたは、スマートフォンやインターネットは使いますか	1. 使う	-	-	509	91.2%							
		2. 使わない	-	-	49	8.8%							
問10	1日どのくらいテレビを見たり、ゲームや動画視聴をしますか (問9で「1. 使う」と答えた人)	1. 1時間未満	456	8.0%	95	18.8%							
		2. 1時間以上2時間未満	1,567	27.6%	167	33.1%							
		3. 2時間以上3時間未満	1,580	27.8%	140	27.7%							
		4. 3時間以上	2,028	35.7%	103	20.4%							
		5. 見ない・しない	51	0.9%	-	-							
問11	あなたは、電子書籍を読んだことがありますか	1. 読んだことある	3,072	54.1%	191	34.7%							
		2. 読んだことがない	2,610	45.9%	360	65.3%							

子どもの読書アンケート比較(高校生、特別支援学校高等部の生徒)

番号	質問内容	調査年度		R7年度調査		R1年度調査		H28年度調査		H23年度調査		H18年度調査	
		調査対象数		1,559		231		238		242		236	
		提出数	回収率	提出数	回収率	提出数	回収率	提出数	回収率	提出数	回収率	提出数	回収率
	質問項目	1,228	78.8%	229	99.1%	237	99.6%	238	98.3%	225	95.3%		
問2	あなたは本を読むのが好きですか	1. 好き	320	26.1%	83	36.2%	93	39.2%	83	34.9%	73	32.6%	
		2. どちらかというと好き	546	44.5%	86	37.6%	104	43.9%	112	47.1%	104	46.4%	
		3. どちらかというと嫌い	271	22.1%	49	21.4%	33	13.9%	35	14.7%	36	16.1%	
		4. 嫌い	91	7.4%	11	4.8%	7	3.0%	8	3.4%	11	4.9%	
問3	あなたはなぜ本を読むことが好きになったんですか (*好き・どちらかといふと好き」と答えた人)	1. 小さい頃家族に本を読んでもらったから	210	24.2%	43	25.4%	50	25.4%	36	18.5%	25	14.1%	
		2. 小さい頃本屋や図書館に連れて行ってもらったから	252	29.1%	35	20.7%	48	24.4%	36	18.5%	19	10.7%	
		3. 家族や先生に、本を読むようにすめられたから	95	11.0%	13	7.7%	26	13.2%	17	8.7%	25	14.1%	
		4. 学校の「読書の時間」で本を読むようになってから	394	45.5%	64	37.9%	81	41.1%	94	48.2%	73	41.2%	
		5. 保育園・幼稚園・こども園の先生に読んでもらったから	114	13.2%	8	4.7%	10	5.1%	6	3.1%	6	3.4%	
		6. 本をプレゼントされたから	58	6.7%	11	6.5%	8	4.1%	2	1.0%	13	7.3%	
		7. 本が好きな友だちがいたから	114	13.2%	25	14.8%	17	8.6%	19	9.7%	15	8.5%	
		8. 家に本があったから	294	33.9%	37	21.9%	50	25.4%	50	25.6%	49	27.7%	
		9. その他	68	7.9%	24	14.2%	35	17.8%	28	14.4%	40	22.6%	
問4	あなたは、なぜ本を読むことが嫌いになったんですか (*複数回答) (*嫌い・どちらかといふと嫌い」と答えた人)	1. 無理やり本を読まされた	12	3.3%	3	5.0%	0	0.0%	2	4.7%	4	6.4%	
		2. 読書感想文や感想画をかくのが嫌だった	146	40.3%	24	40.0%	14	35.0%	19	44.2%	22	46.8%	
		3. 本を読むのは難しいから	124	34.3%	14	23.3%	12	30.0%	9	20.9%	10	21.3%	
		4. 本を読むのは面白くない	151	41.7%	19	31.7%	18	45.0%	12	27.9%	7	14.9%	
		5. 自分のまわりに本がない	55	15.2%	9	15.0%	3	7.5%	4	9.3%	5	10.6%	
		6. その他	20	5.5%	9	15.0%	3	7.5%	10	23.3%	6	12.8%	
問5	あなたは、1ヶ月にどのくらい本を読みますか	1. ぜんぜん読まない	227	18.5%	42	18.6%	28	11.9%	30	12.8%	38	17.7%	
		2. 1～2冊	809	65.9%	134	59.3%	157	66.5%	158	67.2%	145	67.4%	
		3. 3～5冊	149	12.1%	35	15.5%	31	13.1%	35	14.9%	27	12.6%	
		4. 6～9冊	16	1.3%	6	2.7%	14	5.9%	8	3.4%	2	0.9%	
		5. 10冊以上	27	2.2%	9	4.0%	6	2.5%	4	1.7%	3	1.4%	
問6	あなたは、読む本をどのようにして用意していますか (*複数回答)	1. 家にある本を読む	658	53.6%	97	42.4%	97	40.9%	113	47.5%	87	38.7%	
		2. 学校の図書館や学級文庫から借りる	180	14.7%	51	22.3%	41	17.3%	40	16.8%	39	17.3%	
		3. 市の図書館・移動図書館などで借りる	68	5.5%	20	8.7%	21	8.9%	18	7.6%	24	10.7%	
		4. 家族に買ってもらおう自分で買う	677	55.1%	131	57.2%	166	70.0%	139	58.4%	135	60.0%	
		5. 友達から借りる	151	12.3%	52	22.7%	72	30.4%	79	33.2%	84	37.3%	
		6. 読まない	88	7.2%	12	5.2%	4	1.7%	5	2.1%	13	5.8%	
		7. その他	9	0.7%	3	1.3%	12	5.1%	2	0.8%	9	4.0%	
問7	あなたは、本を読むことについてどう思いますか (*複数回答)	1. 楽しい	588	47.9%	126	55.0%	152	64.1%	154	64.7%	119	52.9%	
		2. 感動する	386	31.4%	73	31.9%	75	31.6%	85	35.7%	101	44.9%	
		3. 考える力がつく	451	36.7%	77	33.6%	92	38.8%	79	33.2%	82	36.4%	
		4. 知識が増える	594	48.4%	108	47.2%	117	49.4%	118	49.6%	107	47.6%	
		5. 家族や友だとの話題がふえる	128	10.4%	18	7.9%	32	13.5%	32	13.4%	36	16.0%	
		6. めんどうだ	125	10.2%	13	5.7%	15	6.3%	21	8.8%	16	7.1%	
		7. 読みたい本が周りにない	80	6.5%	5	2.2%	6	2.5%	8	3.4%	11	4.9%	
		8. 面白くない	80	6.5%	5	2.2%	9	3.8%	3	1.3%	5	2.2%	
		9. その他	10	0.8%	5	2.2%	2	0.8%	6	2.5%	7	3.1%	
問8	あなたは、どうすれば今までよりたくさんのが読めるようになると思いますか (*複数回答)	1. テレビ、ゲーム、動画視聴の時間を減らす(R1年度までは、テレビやゲームやスマホ・インターネットの時間の時間を減らす)	729	59.4%	137	59.8%	165	69.6%	126	52.9%	74	32.9%	
		2. 学校の図書館に魅力ある本を増やす	487	39.7%	86	37.6%	47	19.8%	67	28.2%	63	28.0%	
		3. 学校の図書館に本に詳しい先生(司書)がいる	49	4.0%	11	4.8%	13	5.5%	15	6.3%	11	4.9%	
		4. 家族といっしょに本を読む	66	5.4%	10	4.4%	11	4.6%	7	2.9%	8	3.6%	
		5. その他	74	6.0%	17	7.4%	21	8.9%	31	13.0%	46	20.4%	
問9	あなたは、スマートフォンやインターネットは使いますか	1. 使う	-	-	228	100.0%							
		2. 使わない	-	-	0	0.0%							
問10	1日どのくらいテレビを見たり、ゲームや動画視聴をしますか (R1年度までは、あなたは、スマートフォンやインターネットを1日にどのくらい使いますか)	1. 1時間未満	63	5.1%	14	6.2%							
		2. 1時間以上2時間未満	297	24.2%	88	38.8%							
		3. 2時間以上3時間未満	397	32.3%	70	30.8%							
		4. 3時間以上	464	37.8%	55	24.2%							
		5. 見ない／しない	7	0.6%	-	-							
問11	あなたは、電子書籍を読んだことがありますか	1. 読んだことある	736	59.9%	105	46.3%							
		2. 読んだことがない	492	40.1%	122	53.7%							

子どもの読書アンケート比較(小学校1・2・3年生、特別支援学校小学部児童の保護者)													
番号	質問内容	調査年度		R7年度調査		R1年度調査		H28年度調査		H23年度調査		H18年度調査	
		調査対象数		7,405		616		630		672		616	
		提出数／回収率		提出数	回収率	提出数	回収率	提出数	回収率	提出数	回収率	提出数	回収率
		質問項目		3,394	45.8%	530	86.0%	585	92.9%	571	85.0%	513	83.3%
問1	あなたは子どもが読書をすることは大切だと思いますか	1. 思う		3,367	99.2%	524	99.1%	577	99.7%	560	98.4%	509	99.2%
		2. 思わない		17	0.5%	3	0.6%	2	0.3%	3	0.5%	3	0.6%
		3. その他		10	0.3%	2	0.4%	0	0.0%	6	1.1%	1	0.2%
問2	あなたは自分の子どもに読み聞かせ(本を読んであげた)経験はありますか	1. よくある		1,404	41.4%	158	29.9%	191	32.8%	193	33.9%	157	30.6%
		2. 時々ある		1,673	49.3%	298	56.3%	298	51.2%	304	53.4%	286	55.8%
		3. ほとんどない		307	9.0%	72	13.6%	87	14.9%	66	11.6%	63	12.3%
		4. ない		10	0.3%	1	0.2%	2	0.3%	5	0.9%	2	0.4%
		5. その他		-	-	0	0.0%	4	0.7%	1	0.2%	5	1.0%
問3 問2で1・2と答えた人	読み聞かせを始めたきっかけ(何はなぜですか)(複数回答)	1. 友人・知人に薦められて		295	9.6%	61	13.4%	63	12.9%	49	9.9%	42	9.5%
		2. 子どもにせがまれて		1,454	47.3%	242	53.1%	231	47.2%	251	50.5%	249	56.2%
		3. 讲演会等を開いて		232	7.5%	48	10.5%	62	12.7%	65	13.1%	36	8.1%
		4. 保育園・幼稚園等ですすめられて		717	23.3%	-	-	-	-	-	-	-	-
		5. 学校図書館の司書に勧められて		-	-	3	0.7%	9	1.8%	3	0.6%	166	37.5%
		6. その他		940	30.5%	154	33.8%	180	36.8%	184	37.0%	0	0.0%
問4 問2で1・2と答えた人	読み聞かせをすることでお子さんはどのように変化しましたか(複数回答)	1. 機嫌がよくなる		1,005	32.7%	158	34.6%	157	32.1%	176	35.4%	155	35.0%
		2. 読んでとせがむ		1,397	45.4%	226	49.6%	225	46.0%	253	50.9%	264	59.6%
		3. 言葉の発達に役立つ		1,312	42.6%	169	37.1%	153	31.3%	147	29.6%	116	26.2%
		4. 絵や文字に興味を持つようになった		1,773	57.6%	270	59.2%	291	59.5%	285	57.3%	260	58.7%
		5. 人の話を聞けるようになった		410	13.3%	74	16.2%	63	12.9%	81	16.3%	73	16.5%
		6. 本が好きになった		1,576	51.2%	213	46.7%	238	48.7%	257	51.7%	239	54.0%
		7. 子どもが落ち着いた		326	10.6%	50	11.0%	51	10.4%	54	10.6%	52	11.7%
		8. 感性が豊かになった		1,011	32.9%	149	32.7%	152	31.1%	148	29.8%	141	31.8%
		9. その他		108	3.5%	28	6.1%	29	5.9%	32	6.4%	34	7.7%
問5 問2で1・2と答えた人	読み聞かせの本はどうやって用意しますか(複数回答)	1. 市の図書館、移動図書館などで借りる		1,525	49.6%	204	44.7%	219	44.8%	227	45.7%	213	48.1%
		2. 子どもが学校の図書館から借りてくる		1,062	34.5%	190	41.7%	204	41.7%	163	32.8%	169	38.2%
		3. 購入する		2,196	71.4%	245	53.7%	238	48.7%	283	56.9%	264	59.6%
		4. その他		163	5.3%	45	9.9%	45	9.2%	46	9.3%	38	8.6%
問6	あなた自身は本を読むことは好きですか	1. 好き		1,129	33.3%	163	30.9%	237	40.6%	211	37.4%	212	42.2%
		2. どちらかというと好き		1,430	42.1%	203	38.4%	204	34.9%	219	38.8%	191	38.0%
		3. どちらかというと嫌い		764	22.5%	127	24.1%	116	19.9%	111	19.7%	76	15.1%
		4. 嫌い		71	2.1%	35	6.6%	27	4.6%	24	4.3%	24	4.8%
問7 問6で好き、どちらかといふと好きと答えた方	あなたは何故本を読むことが好きになったんですか(複数回答)	1. 小さい頃家族に本を読んでもらったから		600	23.4%	98	48.2%	104	23.6%	101	23.5%	93	23.1%
		2. 小さい頃本屋や図書館に連れてていってもらったから		1,001	39.1%	118	58.0%	139	31.5%	122	28.4%	95	23.6%
		3. 家族や先生に、本を読むように勧められたから		389	15.2%	61	30.0%	87	19.7%	68	15.8%	72	17.9%
		4. 本をプレゼントされたから		297	11.6%	50	24.6%	60	13.6%	57	13.3%	60	14.9%
		5. 本が好きな友人・知人の影響を受けた		534	20.9%	73	35.9%	89	20.2%	89	20.7%	86	21.3%
		6. 家に本があったから		1,035	40.4%	164	80.7%	148	33.6%	170	39.5%	154	38.2%
		7. その他		329	12.9%	68	33.4%	88	20.0%	84	19.5%	96	23.8%
問8 問6で嫌い、どちらかといふと嫌いと答えた方	あなたは何故本を読むことが嫌いになったんですか(複数回答)	1. 子どもの頃無理やり本を読まされた		36	4.3%	5	3.1%	1	0.7%	7	5.2%	7	7.0%
		2. 読書感想文や感想画をかくのが嫌だったから		384	46.0%	88	54.3%	70	49.0%	65	48.2%	62	62.0%
		3. 本を読むのは難しいから		236	28.3%	31	19.1%	26	18.2%	20	14.8%	25	25.0%
		4. 本を読むのは面白くない		145	17.4%	27	16.7%	26	18.2%	25	18.5%	10	10.0%
		5. 自分の周りに本がない		129	15.4%	21	13.0%	19	13.3%	23	17.0%	9	9.0%
		6. その他		147	17.6%	43	26.5%	40	28.0%	42	31.1%	23	23.0%
問9	あなたはどうすれば子どもたちがもっと本を読むようになると思いますか(複数回答)	1. 子どもが小さい時から親が本の読み聞かせをする		2,123	62.6%	328	61.9%	359	61.4%	396	69.4%	348	67.8%
		2. 親が子どもに読書を勧めたり、本を与えたりする		1,292	38.1%	181	34.2%	193	33.0%	170	29.8%	156	30.4%
		3. 家族自身が本を楽しむ		2,089	61.5%	337	63.6%	333	56.9%	339	59.4%	309	60.2%
		4. 家族で図書館や本屋に行く機会を増やす		2,011	59.3%	295	55.7%	309	52.8%	317	55.5%	296	57.7%
		5. テレビやゲームの時間を減らす		945	27.8%	182	34.3%	170	29.1%	160	28.0%	132	25.7%
		6. 家で「読書の時間」をつくる		1,117	32.9%	170	32.1%	180	30.8%	136	23.8%	109	21.2%
		7. 学校教育にもっと読書の時間を取り入れる		918	27.0%	107	20.2%	132	22.6%	112	19.6%	118	23.0%
		8. その他		112	3.3%	30	5.7%	22	3.8%	36	6.3%	28	5.5%
問10	ブックスタート(赤ちゃんと保護者に言葉をそえて絵本をプレゼントする運動)に参加しましたか	1. 久留米市のブックスタートに参加した		2,248	66.2%	316	60.3%	338	60.7%	240	43.9%		
		2. 他市町村のブックスタートに参加した		315	9.3%	49	9.4%	28	5.0%	30	5.5%		
		3. ブックスタートのことは知っているが参加しなかった		285	8.4%	64	12.2%	80	14.4%	80	14.6%		
		4. ブックスタートのことは知らない		523	15.4%	95	18.1%	111	19.9%	197	36.0%		
		5. その他		23	0.7%	-	-	-	-	-	-		
問11	あなたのお子さんはスマートフォンやインターネットは使いますか	1. 使う		-	-	371	70.7%						
		2. 使わない		-	-	154	29.3%						
問12 (問9で「1. 使う」と答えた人)	あなたのお子さんは、スマートフォンやインターネットを1日にどのくらい使いますか(R7年度:1日どのくらいテレビを見たり、ゲームや動画視聴をしますか)	1. 1時間未満		530	15.6%	202	54.2%						
		2. 1時間以上2時間未満		1,505	44.3%	132	35.4%						
		3. 2時間以上3時間未満		923	27.2%	31	8.3%						
		4. 3時間以上		406	12.0%	8	2.1%						
		5. 見ない/しない		30	0.9%	-	-						
問13	あなたのお子さんは、電子書籍を読んだことがありますか	1. 読んだことある		435	12.8%	54	10.4%						
		2. 読んだことがない		2,959	87.2%	467	89.6%						